

平成26年度 事業報告



# 平成26年度 事業報告

## I 一般庶務

### 1. 理事会及び評議員会開催状況

平成26年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成26年6月6日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成25年度事業報告及び収支決算について 2.定時評議員会の招集事項について
平成26年6月20日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成25年度事業報告及び収支決算について 2.理事の選任について
平成26年6月20日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.理事長(代表理事)の選定について 2.平成26年度 補正予算書(案)について
平成26年10月22日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成26年度 事業の進捗について 2.平成26年度 補正予算書(案)について 3.今後の経営戦略について 4.臨時評議員会の招集事項について
平成26年12月3日	臨時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成26年度 事業の進捗について 2.今後の経営戦略について
平成27年3月25日	第4回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成26年度 第三次補正予算書(案)について 2.平成27年度 事業計画書(案)及び 収支予算書(案)について 3.定款の変更について

### 2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就	任	辞	任
平成26年6月20日			理事	岡崎尚喜
平成26年6月20日	理事	田邊征夫		
平成26年6月20日	理事	荒井大作		
平成26年6月20日	理事	井藤 徹		
平成26年6月20日	理事	今井 涉		
平成26年6月20日	理事	黒崎 直		
平成26年6月20日	理事	河村直樹		
平成26年6月20日	理事	駒田朝則		
平成27年1月27日			評議員	水野正好
平成27年3月31日			理事	荒井大作

## Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

### 1. 調査事業

大阪府下における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

① 防衛省 近畿中部防衛局が施行する陸上自衛隊八尾駐屯地格納庫建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
田井中遺跡 〔報告書印刷〕	234,000	0	八尾市

② 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社が施行する北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地  
土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡・明和池遺跡 〔報告書印刷〕	2,109,900	0	吹田市・摂津市
吹田操車場遺跡 〔調査〕	4,691,000	421	吹田市

③ 独立行政法人 (現 国立研究開発法人) 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器  
病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 〔調査〕	238,673,000	18,862	吹田市

④ 西日本旅客鉄道株式会社が施行する東海道本線摂津富田・茨木間新駅設置工事事業地内の  
発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
総持寺遺跡 〔調査・整理〕	9,385,000	219	茨木市

⑤ 西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線  
建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
成合遺跡 他 〔整理〕	7,172,000	0	高槻市
成合地獄谷遺跡 他 〔調査・整理〕	17,352,000	1,639	高槻市
成合地獄谷遺跡 他 〔整理〕	6,316,000	0	高槻市
千提寺西遺跡 他 〔整理〕	25,300,000	0	茨木市

- ⑥ 西日本高速道路株式会社 関西支社、ならびに大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する近畿自動車道名古屋神戸線（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称 高槻東道路）事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
磐手杜古墳群 (2) 〔写真測量 残務〕	(西) 770,000	0	高槻市
	(府) 330,000		

- ⑦ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
井尻遺跡 〔調査〕	8,863,000	726	高槻市
井尻遺跡 〔整理〕	15,648,000	0	高槻市

- ⑧ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路 梶原工区・側道工区）道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原西遺跡 〔調査〕	20,393,000	2,020	高槻市
梶原西遺跡 (2) 〔調査・整理〕	15,311,000	182	高槻市
梶原古墳群 他 〔確認・試掘〕	4,062,000	155	高槻市
梶原古墳群 (2) 〔調査・整理〕	1,618,000	49	高槻市

- ⑨ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道茨木摂津線（都市計画道路大岩線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
国見遺跡隣接地 (契約締結のみ)	0	0	茨木市

- ⑩ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡 (2) 〔調査〕	25,480,000	2,194	柏原市
大県郡条里遺跡 (2) 〔整理〕	14,023,000		柏原市

- ⑪ 大阪府都市整備部 鳳土木事務所が施行する都市計画道路池上下宮線街路事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群 (2) 〔調査・整理〕	48,027,000	3,390	和泉市

- ⑫ 大阪府住宅まちづくり部 住宅経営室住宅整備課が施行する大阪府営瓜破西 (第4期) 住宅 (建替え) 建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡 (3) 〔調査〕	51,372,000	2,316	大阪市平野区

- ⑬ 大阪府総務部 庁舎周辺整備課が施行する大阪府庁本館耐震改修事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大坂城跡 〔調査・整理〕	26,738,000	1,978	大阪市中央区

- ⑭ 大阪府警察本部が施行する大手前立体駐車場建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡 〔整理〕	12,916,000	0	大阪市中央区

- ⑮ 大阪府警察本部が施行する天満警察署建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
天満蔵屋敷跡 〔調査〕	4,544,000	224	大阪市北区

- ⑯ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構が施行する大阪府立成人病センター整備事業 (P F I 事業) 地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡 〔整理〕	17,394,000	0	大阪市中央区

- ⑰ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構が施行する重粒子線がん治療施設整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡 〔調査〕	179,019,000	381	大阪市中央区

- ⑱ 地方独立行政法人 市立吹田市民病院が施行する(仮称)吹田市新市民病院移転建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 [調査]	74,435,000	3,100	吹田市

- ⑲ 学校法人 関西外国語大学が施行する関西外国語大学新キャンパス建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡 [確認]	5,866,000	435	枚方市

- ⑳ イオンモール株式会社が施行する大型店舗建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
讚良郡条里遺跡 [調査・整理]	21,932,000	1,093	四條畷市・寝屋川市

#### <調査事業総計>

受託件数	30件	(平成25年度 32件)
委託金額	859,973,900円	(平成25年度 692,843,000円)
調査面積	39,384㎡	(平成25年度 31,542㎡)

(平成21年度 調査面積 67,626㎡)

(平成22年度 調査面積 58,255㎡)

(平成23年度 調査面積 73,521㎡)

(平成24年度 調査面積 76,041㎡)

## 2. 技術支援

平成21～25年度に引き続き、公益財団法人 鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき、一般国道9号(鳥取西道路)建設事業地内で実施された鳥取市 大柵遺跡・松原田中遺跡・常松菅田遺跡の発掘調査の技術支援のために職員3名を出向させた。

また、平成25年度に引き続き、公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、東日本大震災復興関連事業(三陸沿岸道路建設)地内で実施され

た九戸郡野田村 伏津館遺跡・上泉沢遺跡、下閉伊郡山田町 沢田皿遺跡・間木戸 I 遺跡の発掘調査の技術支援のために職員 2 名、公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、都市計画道路松島本渡線建設事業地内で実施された井辺遺跡、伏虎中学校区小中一貫校設置事業地内で実施された鷺ノ森遺跡の発掘調査の技術支援に職員 2 名をそれぞれ出向させた。



### Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

#### 1. 文化財講演会事業

(1) 平成26年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
4月19日	「新たに見つかった須恵器の窯－成合遺跡の調査成果と平安京遷都前後の須恵器生産－」	一般	弥生文化博物館	90	弥生文化博物館スポット展示と関連して実施
10月2日	「シルクロードの終着点－古代の奈良と大阪－」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	36	近鉄文化サロンとの共催講座
10月19日	「大阪における古地理復元と中世史再構築の試み」	一般	大阪歴史博物館	87	大阪文化財研究所、大阪歴史博物館との共催シンポジウム
10月23日	「歴史ウォーク」 「河内六寺を歩く」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	15	近鉄文化サロンとの共催講座
11月6日	「仏教文化の開花－河内にひろがる古代寺院－」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	39	近鉄文化サロンとの共催講座
11月19日	「歴史ウォーク」 「大阪城400年の歴史を歩く」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	12	近鉄文化サロンとの共催講座
12月4日	「かつて大阪に都があった－難波宮跡発掘60年－」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	40	近鉄文化サロンとの共催講座
1月29日	「刻印石にみる天下普請－大坂城跡の発掘調査－」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	32	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座
2月5日	「北摂山中のキリシタン墓」	会員・一般	近鉄文化サロン 阿倍野	29	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座
3月5日	「伯太藩陣屋における人々の生活」	一般	近鉄文化サロン 阿倍野	28	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座

計 408 名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
6月28日	「高槻市成合遺跡の調査－ 中期末の丘陵上の集落－」	研究者	和歌山市立博物館	近畿弥生の会	74
7月3日	「女王卑弥呼と堺（大阪）」	一般	堺市立女性センター	堺自由の泉大学	15
7月15日	「前方後円墳の築造とまつり」	一般	エル・おおさか	エル・おおさか歴史セミナー	89
9月6日	「大坂冬の陣を掘る」	一般	しおんじやま古墳学習館	しおんじやま古墳学習館 学び場	29
11月5日	「佐竹氏ゆかりの地を訪ねて」	一般	大坂城周辺	南海国際旅行	38
11月29日	「山間のキリシタン遺跡－ 茨木市千提寺西遺跡の成果」	一般	河内長野市	関西山城サミット 2014 in 烏帽子形城	140
3月14日	「弥生人の美－土器の研究 と船橋遺跡－」	一般	大阪府立弥生文化博物館	冬季企画展関連講演会	155
3月20日	「卑弥呼の食卓」	一般	エル・おおさか	エル・おおさか歴史セミナー	96

計 715名

## 2. 現地説明会・現地公開事業

平成26年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
5月10日	井尻遺跡現地公開	一般	高槻市 井尻遺跡	89
8月21日	大県郡条里遺跡現地公開	一般	柏原市 大県郡条里遺跡	26
10月4日	伯太藩陣屋跡現地公開	一般	和泉市 伯太藩陣屋跡	91
1月17日	瓜破北遺跡（その3）現地公開	一般	大阪市 瓜破北遺跡	135
3月6日	吹田操車場遺跡 現地説明会（吹田市 民病院、国立循環器病センター）	一般	吹田市 吹田操車場遺跡	104

計 445名

### 3. 文化財体験学習事業

(1) 出前授業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
10月1日	「豊臣大坂城の台所事情」	ライフデザイン総合学科 栄養士コース「食文化論」	大阪国際大学短期大学部	7
10月8日	「古墳時代の渡来人と食文化」	ライフデザイン総合学科 栄養士コース「食文化論」	大阪国際大学短期大学部	3

計 10名

(2) 子ども向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
4月19日	「まゆクラフト こいのぼりをつくろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	4
6月21日	「紙すきで短冊づくり」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	11
8月9日	「埴輪貯金箱を作ろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	17
8月10～13日	キッズ考古学「低融合金で銅鐸をつくろう」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	24
10月4日	キッズ★チャレンジ！考古楽「土器パズル」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
11月1日	キッズ★チャレンジ！考古楽「鏡パズル」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	4
11月8日	キッズ★体験考古楽「鏡みがき」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
12月6日	キッズ★体験考古楽「銅鐸パズル」 「勾玉消しゴムづくり」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
2月21日	キッズ★体験考古楽「和同開珎づくり」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2

計 68名

(3) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
6月2日	遺跡と博物館	大阪学院大学 博物館 学芸員課程	吹田操車場遺跡	3
7月15日	日本の発掘方法	独立行政法人国際協力 機構ジャイカ (JICA) 研修生	吹田操車場遺跡	4
8月4日～ 8月8日	夏季集中講座「考 古学入門」	大阪府立今宮高校2年 生	吹田操車場遺跡ほか	6
10月16日	古代日本史研究旅 行「考古学体験」	和光高校2年生	吹田操車場遺跡ほか	22
12月12日	集中講座「考古学 入門」	大阪府立大手前高校生	大坂城跡	5

計40名

(4) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
8月1日	発掘現場見学	堅下北小学校 生徒・教師・ 保護者	大県郡条里遺跡	42	「私の水辺 in 柏原」水辺遊 び in 恩智川(大阪府八尾土 木事務所主催)

計42名

#### 4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
(3月4日)～ 4月6日	「難波宮跡出土柱材の年代 —新たな年代測定法の誕 生」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展 示
4月8日～ 4月29日	「成合須恵器窯の系譜」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展 示
7月15日～ 8月3日	「歴史街道でめぐる大阪の 魅力再発見「城と陣屋」	一般	大阪府立中央図書館	大坂城跡、麻田藩陣屋跡出 土遺物の展示
11月5日～ 1月29日	「古墳が好き！埴輪が好 き！！ 高石の古墳と埴輪 の魅力を探る」	一般	高石市立図書館	巨摩第一号古墳、長原 13 号墳出土遺物の展示

## 5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（25年度）を編集した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行った。また、大阪府立弥生文化博物館と近つ飛鳥博物館の特別展情報を掲載した。

## 6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第20回の平成26年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)枚方市文化財研究調査会が開催法人となり、平成26年12月12日(金)に開催された。『古代遺跡の最新調査・研究成果』というテーマで10本の研究発表が行われ、当センターからは笹栗拓が「高槻市成合地区における古代遺跡の展開－火葬墓・須恵器窯跡・山林寺院をキーワードに－」と題して発表を行った。

## 7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成26年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	193冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,643冊
計	1,836冊
累計	87,560冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計84,001レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

## 8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
奈良県立美術館	「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展」展	巨摩遺跡：竪櫛

等29件

計

1480点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	使用目的	出品資料
堺市博物館	堺市博物館 常設展示	大庭寺遺跡：須恵器ほか
等 10 件	計	277 点

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的	出品資料
小学館	「日本美術全集」第1巻 『日本美術創世記』	山賀遺跡：彩文壺形土器 亀井遺跡：冠状木製品
等 75 件	計	521 点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成 26 年度は、下記の図書を出版した。

- 1 吹田操車場遺跡 10・明和池 3 遺跡
- 2 田井中遺跡 3
- 3 総持寺遺跡 3
- 4 成合遺跡・金龍寺旧境内跡 2
- 5 讃良郡条里遺跡
- 6 大坂城跡 4
- 7 大坂城跡 5
- 8 井尻遺跡
- 9 大阪文化財研究 第 44 号
- 10 大阪文化財研究 第 45 号
- 11 大阪文化財研究 第 46 号
- 12 芹生谷遺跡Ⅳ
- 13 寺田遺跡 Ⅳ
- 14 東奈良遺跡
- 15 安威城跡Ⅲ
- 16 和泉寺跡・府中遺跡Ⅲ
- 17 狭山藩陣屋跡 Ⅱ
- 18 鳩原遺跡他発掘調査概要

19 鳩原東端遺跡発掘調査概要

20 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報 18

※12 から 20 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成 26 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 963 冊

## 9. 保存処理事業

### (1) 平成 26 年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	200点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城遺跡13	木製品	PEG-FD処理	120点
大坂城Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
私部南遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD処理	40点
池島福万寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	20点
総持寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	10点
大坂城遺跡13	金属遺物	アクリル樹脂処理	10点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	600点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	5000点
明和池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
大県郡条里遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
田井中遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 100点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

## IV 大阪府立弥生文化博物館事業

### 1. 常設展示

#### (1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

弥生プラザは、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナー。

<弥生プラザ展示>

「雁屋遺跡 北河内の弥生時代拠点集落」

平成26年3月4日(火)～平成27年1月30日(金)

#### (2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料を展示した。

#### (3) リニューアル

常設展示室のリニューアルを実施し、平成27年3月、「卑弥呼と出会う博物館」をコンセプトとしてリニューアルオープンした。第1展示室に、鏡を掲げ持つ卑弥呼像をシンボルとして展示し、卑弥呼の時代前後の鏡、卑弥呼ゆかりの復元品とあわせて“卑弥呼と出会う”コーナーとした。第2展示室には、博物館周辺の弥生遺跡マップを設置し、池上曾根遺跡のガイダンス機能をさらに高めた。その他、デジタル情報端末の増設、サロン、エントランスホールの展示模様替え等を行い、全国唯一の弥生時代専門博物館として、最新の調査や研究成果を取り入れ、展示を充実させた。

### 2. 特展企画展事業

#### (1) 春季特別展「縄文！岩手10000年のたび」

【入館者数：12,122名 242名/日】

- ア. 開催概要 岩手県教育委員会所蔵資料を通じて1万年をタイムトラベル！土器、土偶、アクセサリーなど、ユニークなものばかり。震災復興にともなう発掘、調査についても紹介した。
- イ. 開催期間 平成26年5月3日(土祝)～6月29日(日) 【会期：50日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般600円(480円) 65歳以上および高校大学生400円(320円) ( )内は団体割引料金
- オ. 印刷物 図録、リーフレット
- カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日：5月17日(土) 90名、5月31日(土) 68名、6月14日(土) 75名、6月28日(土) 68名

【参加者数：計301名】

#### (2) 夏季特別展「遙かなるメソポタミアー時空を超えたヒトの営みー」 【入館者数：9558名 203名/日】

- ア. 開催概要 長年にわたってシリアでの発掘調査を進めてきた古代オリエント博物館(東京都池袋)の



協力を得て、紀元前のメソポタミアの考古資料、模型類を展示した。また、国内の考古資料を合わせて展示することで、洋の東西をこえた物質文化の比較を行った。

- イ. 開催期間 平成26年7月8日(火)～8月31日(日) 【会期：47日間】  
ウ. 開催場所 特別展示室  
エ. 入館料 一般600円(480円)、65歳以上および高校大学生400円(320円) ( )内は団体割引料金  
オ. 印刷物 図録、リーフレット、解説シート  
カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。  
7月12日(土)64名、7月19日(土)52名、7月26日(土)50名、8月2日(土)25名、8月23日(土)48名、8月24日(日)50名、8月31日(日)43名  
【参加者数：332名】

**(3) 秋季特別展 摂河泉シリーズ2「河内地寶」** 【入館者数：15,248名 201名/日】

ア. 開催概要 古代王権の揺籃の地、大阪を考古学的に読み解く摂河泉シリーズ第2弾。古くは瀬戸内海・大阪湾とつながった沿岸部であり、人びとが集い、文化が交差する場であった河内。「地の宝」である考古資料を、当時の生活の情景ごとに切り取って紹介した。本展は、「日本発掘—発掘された日本列島2014—」の地域展として開催した。

- イ. 開催期間 平成26年9月17日(水)～12月14日(日) 【会期：76日間】  
ウ. 開催場所 特別展示室  
エ. 入館料 一般600円(480円) 65歳以上および高校大学生400円(320円) ( )内は団体割引料金  
オ. 印刷物 図録  
カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。  
9月27日(土)22名、10月11日(土)25名、10月18日(土)36名、  
11月15日(土)41名、11月29日(土)23名、12月13日(土)23名  
【参加者数：合計170名】

**(4) 冬季企画展「河内の美・技・心—考古学研究と船橋遺跡—」** 【入館者数：13,432名 249名/日】

ア. 開催概要 大和川の河床に散らばるたくさんの土器が発見されたのは、20世紀前半のこと。柏原市と藤井寺市にまたがるこの地点は船橋遺跡と呼ばれるようになり、その後の探索や発掘によって、旧石器時代から室町時代までの多種多様な遺物が良好な状態で見つかった。本展では、当館が所蔵する船橋遺跡の資料を中心に、船橋遺跡の学史的意義やそこに生きた人々の「美・技・心」に迫った。

- イ. 開催期間 平成27年1月24日(土)～4月19日(日) 【会期：57日間】  
※入館者数、会期日数は平成27年3月31日(火)迄の集計  
ウ. 場所 特別展示室  
エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円) ( )内は団体割引料金  
オ. 印刷物 図録  
カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

1月31日(土) 40名、2月14日(土) 31名、2月28日(土) 29名、3月14日(土)  
18名

【参加者数:合計 118名】

### (5) その他展示事業

- ① 春季企画展示「炎・炭・土の芸術—信太窯 20年の歩み—」 【参加者数:5,842名 292名/日】
- ア. 開催概要 和泉市の信太山丘陵で20年にわたり作陶活動が続けている、陶芸家・坂上竹造氏の炭で焼き締める手法によって作られた作品を展示した。
- イ. 開催期間 平成26年4月5日(土)～4月27日(日) 【会期:20日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般300円(240円)、65歳以上及び高校大学生 200円(160円)( )内は団体割引料金

### 3. 講演会事業等

#### (1) 春季特別展「縄文!岩手10000年のたび」関連

##### ① 考古学セミナー

- 5月17日(土)「縄文の世界」 【参加者数:198名】  
國學院大學名誉教授 小林達雄
- 5月31日(土)「岩手の縄文遺跡を掘って考えた」 【参加者数:190名】  
(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 高木 晃
- 6月14日(土)「縄文時代後期の遺跡と社会」 【参加者数:241名】  
盛岡大学文学部教授 熊谷常正
- 6月28日(土)「岩手県での発掘調査—震災復興のために—」 【参加者数:169名】  
(公財)大阪府文化財センター 課長補佐 三好孝一  
大阪府立近つ飛鳥博物館総括学芸員 廣瀬時習

#### (2) 夏季特別展「遙かなるメソポタミア」関連

##### ① 考古学セミナー

- 7月12日(土)「時の積層—シリアでテルを掘る—」 【参加者数:140名】  
古代オリエント博物館研究員 下釜 和也
- 7月19日(土)愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 研究報告会 【参加者数:273名】  
古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード—鉄の歴史を探る—  
「ユーラシアにおける鉄の起源と伝播」  
「中国漢代の製鉄遺跡を掘る—蜀の遺跡を中心に—」  
愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・センター長 村上恭通  
「トルコ・カマンカレホユック発掘調査参加記—最古の鉄との遭遇—」  
愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター講師 榎林啓介  
「匈奴と鉄—モンゴルの発掘成果を中心に—」

愛媛大学法文学部准教授 笹田朋孝

7月26日(土) 日本西アジア考古学会 特別講演会 【参加者数:134名】

「メソポタミアへの再接近ー遺跡調査の現場からー」

東京大学総合研究博物館特任研究員 小高敬寛

8月9日(土) メソポタミア展開催記念講演会&ミニシンポジウム 【参加者数:121名】

古代オリエントーその叡智と文化ー

「ハムラビ法典作成の目的とその現代的意義」

古代オリエント博物館館長 中田一郎

「トルコ・キュルテペ遺跡の世界遺産登録に向けて」

ノートルダム清心女子大学教授 紺谷亮一

「シリア・パルミラの死生観」

奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤清秀

## ② 関連ワークショップ

8月3日(日) 「シリアの民族衣装を着てみよう!」「オリエントの彩文土器×弥生土器 土器パズル」  
「円筒印章をおしてみよう」 【参加者数:88名】

8月23日(土) 「民族衣装を着てみよう!」「オリエントの彩文土器×弥生土器 土器パズル」  
「円筒印章をおしてみよう」「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう!」  
「メソポタミアな! プラ板キーホルダーづくり」 【参加者数:567名】

8月24日(日) 「民族衣装を着てみよう!」「オリエントの彩文土器×弥生土器 土器パズル」  
「円筒印章をおしてみよう」「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう!」  
「メソポタミアな! プラ板キーホルダーづくり」「石をみがこう!」  
「大昔の生き物のおはなしと化石レプリカづくり」 【参加者数:848名】

## (3) 秋季特別展「河内地竈」関連

### ① 考古学セミナー 「オールネイティブでおとどけする河内文化の魅力」

9月27日(土) 「(河内の土器)のちから、縄文~平安ーミステリー・マジック・ミラクル3題ー」  
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数:117名】

10月11日(土) 「河内の弥生文化」  
大阪大谷大学准教授 長友朋子 【参加者数:150名】

10月18日(土) 「古市古墳群と河内の古墳時代」  
大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授 笠井敏光 【参加者数:161名】

11月15日(土) 「河内の古代寺院・官衙と交通路」  
近畿大学文芸学部教授 網 伸也 【参加者数:160名】

11月29日(土) 「発掘された村・町・城からみた河内の中世」  
大阪樟蔭女子大学学芸学部教授 佐久間貴士 【参加者数:124名】

12月13日(土) 「河内から世界遺産を!ー文化遺産と考古学を楽しもうー」  
元大阪国際大学教授

(公財) 向日市埋蔵文化財センター理事長 杉原和雄

【参加者数：111名】

② 関連ワークショップ

11月16日(日)「描いて、つけて、古代人になろう！」

【参加者数：86名】

12月6日(土) 講座&制作体験「古代の技に学ぶ石器づくり」

【参加者数：26名】

(4) 冬季企画展「河内の美・技・心ー考古学研究と船橋遺跡ー」関連

① 考古学セミナー

1月31日(土) 「考古学・古代学史にかがやく船橋遺跡」

【参加者数：161名】

柏原市立歴史資料館館長 安村俊史

2月14日(土) 「新展開をみせる船橋遺跡の発掘」

【参加者数：160名】

(公財) 鳥取県教育文化財団文化財主事 正岡大実

2月28日(土) 「縄文人の心ー土偶の研究と船橋遺跡ー」

【参加者数：163名】

大阪府立狭山池博物館学芸課長 大野 薫

3月14日(土) 「弥生人の美ー土器の研究と船橋遺跡ー」

【参加者数：155名】

(公財) 大阪府文化財センター調査第一課長補佐 三好孝一

4月4日(土) 「古代人の技ー帯金具の研究と船橋遺跡ー」

【27年度実施予定】

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

4月18日(土) 「仏教の美・技・心ー寺院・屋瓦の研究と船橋遺跡(廃寺)ー」

【27年度実施予定】

藤井寺市教育委員会教育部文化財保護課課長 上田 睦

(5) スポット展示

「変革期の須恵器窯ー成合遺跡の調査結果ー」4月8日(火)~4月29日(火祝)【参加者数：5,980名】

講演会&ミニシンポジウム「成合須恵器の系譜」 4月19日(土)

「新たに見つかった須恵器の窯ー成合遺跡の調査成果と平安京遷都前後の須恵器生産ー」

(公財) 大阪府文化財センター 笹栗 拓

「須恵器から現代陶器まで」 当館学芸員 瀬尾晶太

「成合窯で焼かれた須恵器はいつどこで使われたかー長岡京・山城地域窯の製品との比較検討からー」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

【参加者数：90名】

(6) 弥生プラザ講演会&シンポジウム

講演会&ミニシンポジウム「雁屋遺跡の研究成果〈再発見〉」4月26日(土)

「雁屋遺跡 四條畷高校の発掘調査」

大阪府教育委員会 辻本 武

「弥生研究に大きく貢献した雁屋遺跡の成果総覧」 四條畷市立歴史民俗資料館 野島 稔

「弥生土器の色とマツリー雁屋遺跡から追究する「赤い器台」「白い器台」「黒い器台」ー」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

【参加者数：131名】

**(7) 弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界 (近畿弥生の会との共催)**

- 5月10日(土) 「弥生文化は渡来文化か」  
(独法) 奈良文化財研究所都城発掘調査部研究員 庄田慎矢 【参加者数: 93名】
- 8月30日(土) 「井泉のまつり」  
(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター主任 高野陽子 【参加者数: 85名】
- 11月8日(土) 「青銅器生産からみる弥生社会」  
彦根市教育委員会文化財課副主査 戸塚洋輔 【参加者数: 62名】
- 1月17日(土) 「播磨における古墳時代前夜の集落」  
姫路市教育委員会文化財課技術主任 福井 優 【参加者数: 71名】
- 【4回参加者数 計311名】

**(8) 弥生博 木曜大学**

前半講義テーマ「世界のなかの縄文・弥生～東西の新石器文化を訪ね、考え、比較する～」

講師 当館館長 黒崎 直 (◇印)、当館副館長 秋山浩三 (◇印以外)

- 6月5日(木) 「なぜ世界史と比べるのかー特別展《遙かなるメソポタミア》へ向けてー」  
【参加者数: 140名】
- 6月12日(木) 「英国・イングランド」 【参加者数: 145名】
- 6月19日(木) 「英国・スコットランド」 【参加者数: 148名】
- 6月26日(木) 「愛国 (アイルランド) ・ボイン川流域」 【参加者数: 156名】
- 7月3日(木) 「仏国・ブルターニュ地方」 【参加者数: 128名】
- 7月10日(木) 「中国・黄河流域」 【参加者数: 123名】
- 7月17日(木) 「中国・長江流域」 【参加者数: 153名】
- 7月24日(木) 「考古学者チャイルドの〈都市革命〉と弥生都市論」 【参加者数: 134名】
- ◇7月31日(木) 「世界のなかの縄文・弥生文化」 【参加者数: 176名】

後半講義テーマ「陰陽道・安倍晴明ブームを考える

～弥生博ご当地・信太山(信太の森)からお届けする特殊講義～

講師 当館館長 黒崎 直 (◇印)、当館副館長 秋山浩三 (◇印以外)

- ◇8月21日(木) 「古代の呪的遺品ーおどろおどろし考古資料の世界ー」 【参加者数: 181名】
- 8月28日(木) 「安倍晴明・陰陽道ブームの光と影」 【参加者数: 191名】
- 9月4日(木) 「今に残る陰陽道のマツリ」 【参加者数: 181名】
- 9月11日(木) 「考古学から追究する陰陽道の歴史性」 【参加者数: 191名】
- 9月18日(木) 「その後の陰陽道にかかわる動向」 【参加者数: 163名】
- 9月25日(木) 「特別展《河内地寶》の陰陽道木簡・呪術的遺物を極める」 【参加者数: 157名】

**(9) 若き考古学徒、論壇デビュー!**

第1回 2月7日(土) 【参加者数: 70名】

「古代エジプトの聖牛崇拝について」

近畿大学大学院修士課程2年 中井健太

「技術的変化からみた竪穴式石槨の定型化と分布的検討」

関西大学大学院博士課程後期課程 3 年次 山田 暁

第 2 回 2 月 21 日 (土)

【参加者数：96 名】

「弥生時代中期後葉～後期における尾張の社会変化と周辺地域への伸張」

大阪市立大学大学院前期博士課程 1 年 佐藤梨花

「古墳時代成立期における太平洋沿岸ルートの検討ー西日本を中心にー」

大阪大学大学院博士前期課程 2 回生 竹内裕貴

「四国東部の積石塚と葺石を持つ古墳ー大和の事例との関連性ー」

関西大学 4 回生 吉田あかね

第 3 回 3 月 21 日 (土)

【参加者数：79 名】

「近畿地方における後期旧石器時代後半期の小型ナイフ形石器について」

関西大学大学院博士課程前期課程 2 年次 渡邊貴亮

「円筒埴輪からみた古市・百舌鳥古墳群における階層性」

大阪大学 4 回生 木村 理

#### (10) 「めおと de 考古学」2014

第 1 回 11 月 22 日 (土)

【参加者数：49 名】

「弥生時代のマツリ」 寺前夫妻

(駒澤大学文学部准教授 寺前直人 / 国分寺市教育委員会 寺前めぐみ)

第 2 回 2 月 22 日 (日)

【参加者数：75 名】

「邪馬台国時代の土器と集落」 青木夫妻

(天理市教育委員会 青木勘時 / 奈良県文化振興課 小池香津江)

#### (11) 常設展示室リニューアル関連

3 月 3 日 (火) 常設展示室リニューアル記念式典・同展示解説

【参加者数：99 名】

3 月 3 日 (火) 特別展示室 (冬季企画展) 展示解説

【参加者数：28 名】

3 月 7 日 (土) 記念シンポジウム「卑弥呼と出会う博物館」

【参加者数：208 名】

「弥生時代研究と弥生博」 当館名誉館長 金関 恕

「弥生博と卑弥呼」 文化庁文化財部記念物課 榎垣田佳男

「なぜいま卑弥呼なのか」 大阪府立近つ飛鳥博物館館長 白石 太郎

「謎のベールを脱ぐ卑弥呼」 当館館長 黒崎 直

「弥生博と邪馬台国」 (公財) 大阪府文化財センター 江浦 洋

年間パスポート所持者限定「バックヤードツアー」

3 月 5 日 (木) 16 名、3 月 12 日 (木) 7 名、3 月 21 日 (土) 7 名

【参加者数：30 名】

#### (12) 弥生フェスティバル連続講演会 「いま甦る 卑弥呼の衣・食・飾」

3 月 27 日 (金) 「卑弥呼の宝石箱ー弥生のかざりー」

【参加者数：87 名】

大阪府立狭山池博物館 渡邊昌宏

3月28日(土) 「卑弥呼の食卓ー弥生のたべものー」 【参加者数：76名】

大阪府教育委員会 宮野淳一

3月29日(日) 「卑弥呼の衣装ー弥生のきものー」 【参加者数：68名】

天理大学 酒野晶子

### (13) その他

①5月22日(木) 新旧学芸員承継ミニシンポジウム 【参加人数：62名】

「東日本における弥生時代の武器形石器」 瀬尾晶太 (新任学芸員)

「文化財をまもり、伝えるー建造物彩色修理を中心にー」 北原翔子 (新任学芸員)

「お世話になった皆様へー東北の大地からー」 《ビデオレター》

佐藤 直紀 ((公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、元当館学芸員)

「学芸員」10年の区切り」 角南なつみ (当館学芸員)

《トーク》コーディネーター：柴田妃三光 (当館学芸員)

②11月3日(月祝) 文化の日特別企画 水野 正好さん講演会「倭国王卑弥呼と女王国」

奈良大学名誉教授 水野正好

【参加者数：293名】

## 4. 「府民が参加する博物館」事業

### (1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：安井征雄 (ヴァイオリン)、稲本 直 (コンサート企画)、田中寛治 (社会教育)

4月13日(日) 「箏・三弦・尺八による春爛漫コンサート」 【参加者数：171名】

邦楽合奏団「地湧」(箏・三弦・尺八)

5月11日(日) 「音楽で奏でるロシアおとぎ話の世界」 【参加者数：177名】

目 華子 (ピアノ)、小阪和美 (フルート)

5月18日(日) 「初夏に聴く幻想の調べ」 【参加者数：195名】

chouchou：農頭奈緒 (ヴァイオリン)、佐々木美香 (ハーブ)、中右奈美 (フルート)

5月25日(日) 「83歳アマチュアテナー人生を歌う」 【参加者数：302名】

杉原良二 (テノール)

6月 1日(日) 「L'harmonie Recital～フルートとピアノ、魅惑の音色～」 【参加者数：211名】

樋口 藍 (フルート)、小幡文香 (ピアノ)

6月29日(日) 「フルートパーティー」 【参加者数：226名】

フルートアンサンブル エスカル (フルート)

7月13日(日) 「音楽物語～夏のまぼろし～」 【参加者数：188名】

大城梨花 (フルート)、大城杏花 (ピアノ)

7月27日(日) 「チューバ・セレナーデ」 【参加者数：167名】

山家谷憲司 (チューバ)、比果沙織 (ピアノ伴奏)

- 8月17日(日)「夏の日、燦燦コンサート～古典からビートルズまで珠玉の音楽万華鏡～」  
【参加者数：206名】  
デュオ・インティモ PLUS：米倉典子（ピアノ）、水藻俊明（フルート）、中澤 保（バスーン）
- 8月31日(日)「癒し音たまたま箱～風に乗って～」  
【参加者数：249名】  
びばる～ん：井谷清子（カリンバ）、高橋公世（オカリナ）、堀内徹三（チェロ）
- 9月7日(日)「Musik Blomster～音楽の花々～フルート&ピアノデュオコンサート」【参加者数：156名】  
前田みさと（フルート）、黒木 舞（ピアノ）
- 9月21日(日)「バイオリンVSフィドル クラシックと Russian' Traditional を同時に楽しむ方法」  
【参加者数：265名】  
アンサンブル大阪とアンサンブルバラノチカと井阪あゆみ
- 9月28日(日)「うきうき楽しいオカリナアンサンブルー弥生の音色にのせてー」 【参加者数：146名】  
オカリナアンサンブル『びくにつく』：竹田正俊・野田佳子・西岡昭彦・田中理子・  
小川知子
- 10月4日(土)トワイライトコンサート「シャンソンコンサート～秋、今宵あなたと～」  
豊岡厚恵（歌手）、栗田清隆（ピアノ） 【参加者数：108名】
- 10月19日(日)「風と木の調べ」 【参加者数：116名】  
KCO室内アンサンブル：高橋夏樹（フルート）、政次知己（オーボエ）、  
大沼正史（クラリネット）、西島直子（ファゴット）、石谷亮介（ホルン）
- 11月9日(日)「2台のピアノによるコンサート「My Favorite Things」Piano×Piano」  
【参加者数：179名】  
武田友子・佐々木美絵・豊田佳代子・吉田 薫・仲西洋子（ピアノ）
- 11月23日(日)「秋の午後のひととき～心に響く鐘の音～」 【参加者数：171名】  
田中慈子（ピアノ）
- 12月14日(日)「天使の響き～ハンドベルコンサート～part8」 【参加者数：143名】  
ドリーム21ハンドベル教室
- 12月21日(日)「ロマンスⅢ～前田みねりヴァイオリンコンサート～」 【参加者数：226名】  
前田みねり（ヴァイオリン）
- 1月11日(日)「春を呼ぶ津軽の弦と歌声」 【参加者数：219名】  
亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子・柴田雅朗・太田志乃（津軽三味線・民謡）
- 1月25日(日)「ピアノでめぐる世界の旅へようこそ！～Piano Duo Concert～」 【参加者数：188名】  
増成春奈・川添衣利（ピアノ連弾）
- 3月8日(日)「Guten Appetit～どうぞ召し上がれ～」 【参加者数：156名】  
浅野純加・西尾有加・野口 歩（ソプラノ）、竹田奈津（ピアノ）
- 3月15日(日)「いにしへの風～17世紀イタリア音楽の夜明け～」 【参加者数：192名】  
IL FIORE(イル・フィオーレ)：笹山晶子（ソプラノ）、上田浩之（ヴァイオリン）、  
河内知子（ヴァイオリン）、太田賀之（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、  
山下佐智子（チェンバロ）



3月22日(日)「魅惑のピアノクインテット」

【参加者数：203名】

リバーレジュピアノ五重奏：植田祐加里（ピアノ）、田久保友妃（ヴァイオリン）、  
福本聖子（ヴァイオリン）、小間久子（ヴィオラ）、竹中裕深（チェロ）

## (2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

① 7月15日(火)～7月26日(土) 「潮見満英 ぼく画展—祇園祭と大阪の干支—」

【入館者数：1,924名】

② 8月2日(土)～8月16日(土) 「第19回卑弥呼の時代を描こう絵画コンテスト優秀作品展」

【入館者数：2,226名】

③ 10月21日(火)～11月3日(月祝)「川上通夫個展「島旅の絵+島だより」」

【入館者数：6,882名】

④ 11月11日(火)～11月22日(土)「やよいず絵画展」

【入館者数：1,645名】

⑤ 12月2日(火)～12月13日(土)「過去(むかし)を甦らせる遺跡イラスト画の力

—佐野喜美 原画展—」【入館者数：1,009名】

12月7日(日) 講演会&ミニシンポジウム

【参加者数：89名】

「過去(むかし)と現在(いま)をつなぐ遺跡イラスト画の世界」

「遺跡イラスト画でみる暇の歴史」

四條畷市教育委員会 村上 始

「私がかかわった北河内の遺跡イラスト画、そして、池上曾根」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

「遺跡の保存活用と遺跡イラスト画～妻木晩田遺跡の事例から～」

関西外国語大学英語国際学部教授 佐古和枝

《トーク》「過去と現在をつなぐ遺跡イラスト画の世界」司会：当館学芸員 北原翔子

⑥ 1月14日(水)～1月24日(土)「佐藤未知子個展「いにしえの雪」」

【入館者数：687名】

## (3) 第19回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで8月2日(土)から8月16日(土)まで展示した。

【入館者数：2,226名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、上田正克(元泉大津市立浜小学校校長)

① 応募期間：5月27日(火)～6月29日(日)

② 応募点数：493点

③ 表彰式：8月2日(土)

金賞「神のおつげ」谷 承子(豊中市立西丘小学校5年)

金賞「やよいじだい」吉田椿裳(和泉市立鶴山台南小学校6年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入賞63点

#### (4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：120日 協力者数：238名】

4月「道具作り」、「団体にむけてのワークシートや展示室解説」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、

「子どもFD（米つき体験）」 【活動日数：13日 協力者数：42名】

5月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「ボランティア春季特別展の特別解説」

【活動日数：12日 協力者数：22名】

6月「道具作り」、「展示室巡回」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢体験）」、「講演会準備作業」

【活動日数：11日 協力者数：17名】

7月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（火おこし）」、「絵画コンテスト準備」、

「ボランティア夏季特別展の特別解説」

【活動日数：11日 協力者数：20名】

8月「音☆楽市 土器・銅鐸パズル」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（鳥形紙ひこうき）」、

「夏休みフェスタ!土器パズル」、「道具作り」

【活動日数：8日 協力者数：12名】

9月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「大阪府立中央図書館 土器・銅鐸パズル」、

「ボランティア秋季特別展の特別解説」

【活動日数：9日 協力者数：17名】

10月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「音☆楽市 土器・銅鐸パズル」、「和泉市商工まつり 土器・銅鐸パズル」、

「子どもFD（米つき体験）」、「絵画コンテスト返却準備」

【活動日数：11日 協力者数：15名】

11月「道具づくり」、「土器・銅鐸パズル」、「まが玉をみがこう」、「子どもFD（石器を使ってみよう）」、

「関西文化の日 土器・銅鐸パズル」、「JAいずみの農業まつり 土器・銅鐸パズル」

【活動日数：7日 協力者数：13名】

12月「Let's 弥生体験準備/実施」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢）」、「秋季特別展WS講座&製作体験「古代の技に学ぶ石器づくり」」

【活動日数：8日 協力者数：11名】

1月「道具作り」、「Let's 弥生体験」、「子どもFD（火おこし）」、「道具づくり」、「ちらし通送準備」、「冬

の弥生ミュージアム!土器・銅鐸パズル等体験サポート」

【活動日数：9日 協力者数：20名】

2月「考古学カードに関する業務」、「土器・銅鐸パズル」、「道具づくり」、「ボランティア冬季企画展の特別解説」、「冬のやよいミュージアム!土器・銅鐸パズル等体験サポート」、「Let's 弥生体験・子どもFD（土器に触れてみよう）サポート」、

「団体利用案内の通送準備」

【活動日数：10日 協力者数：21名】

3月「弥生フェスティバル準備/実施」、「土器・銅鐸パズル」、「Let's 弥生体験・子どもFD（火おこし）

サポート」、「道具作り」、「ボランティア活動総括の会」、「通送準備」

【活動日数：11日 協力者数：28名】

#### <ボランティア活動の内容>

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

## 5. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

### (1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。【入館者数：9,903名】

- ＜堺市＞浜寺石津小学校、金岡南小学校、南八下小学校、新浅香山小学校、神石小学校、竹城台東小学校、三国丘小学校、東三国丘小学校、浅香山小学校、福泉小学校、福泉東小学校、市小学校、安井小学校、上野芝小学校、鳳小学校、深井小学校、日置荘小学校、錦綾小学校、原山台小学校、原山台東小学校、浜寺昭和小学校、深井西小学校、桃山台小学校、新湊小学校、三宝小学校、土師小学校、西百舌鳥小学校
- ＜和泉市＞国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、信太小学校、幸小学校、芦部小学校、和気小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、黒鳥小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、横山小学校、南横山小学校
- ＜泉大津市＞上條小学校、条東小学校、旭小学校、浜小学校、条南小学校、楠小学校
- ＜高石市＞羽衣小学校、清高小学校、高陽小学校、高石小学校
- ＜忠岡町＞忠岡小学校、東忠岡小学校
- ＜岸和田市＞太田小学校、新条小学校、山直北小学校、常磐署小学校
- ＜貝塚市＞二色小学校、北小学校
- ＜泉佐野市＞大木小学校、日新小学校、北中小学校
- ＜泉南市＞新家小学校、東小学校
- ＜田尻町＞田尻小学校
- ＜大阪市＞遠里小野小学校、生野小学校、新平野西小学校、栄小学校、喜連西小学校、萩之茶屋小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉小学校、上福島小学校、福島小学校、大開小学校、天王寺小学校、山之内小学校、平林小学校、成育小学校、加美東小学校、住之江小学校、大成小学校、南住吉小学校、東小橋小学校、依羅小学校、弁天小学校、苅田北小学校、千本小学校、玉出小学校、安立小学校、喜連小学校、生野南小学校、
- ＜守口市＞下島小学校
- ＜東大阪市＞西堤小学校
- ＜松原市＞天美南小学校、松原南小学校、松原北小学校
- ＜羽曳野市＞古市小学校
- ＜八尾市＞美園小学校、大正北小学校
- ＜大阪府立＞堺聴覚支援学校、和泉支援学校
- ＜和歌山県和歌山市＞名草小学校、藤戸台小学校、西佐和小学校、有功小学校、中之島小学校、小倉小学校、貴志小学校
- ＜和歌山県橋本市＞柱本小学校
- ＜和歌山県海南市＞大東小学校、黒江小学校

<和歌山県紀ノ川市>池田小学校

<奈良県五條市>阪合部小学校

<兵庫県伊丹市>鴻池小学校

<私立>仁川学院小学校、建国小学校、近畿大学附属小学校

## (2) 大学・高等学校、中学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：1,726名】

### ① 大学・高等学校・中学校等

近畿大学、京都橘大学

大阪府立信太高校

大阪市立加賀屋中学校、大阪市立上町中学校、大阪市立平野北中学校、大阪府立佐野支援学校（中学部）、大阪府立和泉支援学校（中学部）、富秋中学校（研修会）

### ② その他団体

たけのこ子ども会、不二银杏会、デイセンターせんなん、和泉市文化協会老人会、ボーイスカウト堺11団カブ隊、4市1町要約筆記奉仕員養成講座、貝塚市教育委員会、いずみの里、高齢者大学「日本の起源と文化」「大阪の史跡探訪科」「自然文化を楽しむ科」、有田川町教育委員会、堺探訪会、和泉消防本部予防課、障友会堺みなみ、東大阪文化財を学ぶ会、TOSS大阪天馬子ども観光大使、大阪府老人大学歴史考古学科、JICA、川西・古代学友の会、大阪市青少年活動協会、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、泉大津市ボランティア研修会、岸和田市立教育研究所教育相談室、すばる児童館、伊丹市博物館友の会、和泉市立芦部保育園、和泉市立国府第二保育園、和泉市立鶴山台第一保育園、泉佐野市・東佐野台支部福祉委員会、社会福祉法人清光会、菊丘ゴールドクラブ、和泉市立幸幼稚園、コープこうべコープカルチャー西宮、障友会わらか草部、和泉市小学校校長会、藤井寺市教育委員会、伊勢町自治会、太子町立歴史資料館、世界遺産研究セミナー（MPトラベル）

## (3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月2日（水） 18校 【参加者：52名】

4月3日（木） 9校 【参加者：27名】

4月4日（金） 8校 【参加者：21名】

## (4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【利用者数：6,359名・189回】

## (5) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

【実績：4,114名・132回】

<堺市>宮山台小学校、日置荘西小学校、熊野小学校、市小学校、深井小学校、三原台小学校、竹城台

東小学校、浜寺石津小学校、深阪小学校、庭代台小学校、上神谷小学校、福泉東小学校  
 <泉大津市>戎小学校、条南小学校、楠小学校  
 <和泉市>光明台北小学校、鶴山台南小学校、みなまつ保育園  
 <熊取町>熊取東小学校  
 <泉佐野市>佐野台小学校  
 <岬町>深日小学校、淡輪小学校  
 <豊中市>野田小学校  
 <茨木市>葦原小学校放課後子ども教室  
 <大阪市>宮原小学校、福小学校、東中川小学校、栄小学校、野中小学校、南市岡小学校、千本小学校、  
 弁天小学校、歌島小学校、生魂小学校、視覚支援学校（小学部）、光陽特別支援学校大阪市立  
 総合医療センター分教室、喜連中学校、平野支援学校（小学部）  
 <枚方市>川越小学校、藤阪小学校、枚方第二小学校  
 <交野市>第四小学校  
 <八尾市>大正北小学校、美園小学校、古市南小学校  
 <松原市>天美南小学校、松原小学校  
 <羽曳野市>白鳥小学校、丹比小学校放課後子ども教室、埴生南放課後子ども教室、古市南小学校、  
 駒ヶ谷小学校  
 <河南町>白木小学校  
 <大阪府立>和泉支援学校  
 <和歌山市>宮北小学校、四箇郷北小学校  
 <その他>大阪「勉強ワクワク」フォーラムⅡ出前授業の紹介展示（会場：大阪府教育センター）

## (6) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

### ① 大学生（博物館学実習等）

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

6月14日（土）	桃山学院大学学芸員課程研修	【3名】
6月29日（日）	大阪観光大学 館内・BY見学	【63名】
7月3日（木）・7月4日（金）	弘前大学（資料調査）	【1名】
7月6日（日）	関西大学博物館実習	【47名】
7月11日（金）	京都教育大学（博学連携に関する問合わせ）	【1名】
7月29日（火）～8月3日（日）	博物館実習	【10大学・21名】
8月6日（水）・7日（木）	奈良大学通信教育部学生	【45名】
8月8日（金）	大阪教育大学（見学・講義）	【20名】
9月9日（火）	大阪府教育委員会インターンシップ（同志社大学生）	【1名】
11月30日（日）	神戸女子大学文学部史学科 博物館学資料保存論研修	【38名】

1月25日(日) 神戸女子大学文学部史学科 考古学特講研修 【76名】

② 中学生・高校生(職場体験学習等)

中学生を1~2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。また、高校生の入門講座・バックヤードツアー等をとおして、学習機会を提供した。

4月1日(火)~4月6日(日) 大阪府立泉大津高校(日本史B古代分野の予習) 【52名】  
7月8日(火)~8月31日(日) 大阪府立登美丘高校日本史A夏休みレポート 【259名】  
7月8日(火)~8月31日(日) 大阪府立山本高校日本史A夏休みレポート 【69名】  
7月10日(木) 大阪府立成美高校(各種体験・BYツアー) 【17名】  
8月8日(金) 大阪府立今宮高校考古学入門講座 【7名】  
8月15日(金) 高校生博物館ツアー 【6名】  
9月18日(木)~19日(金) 高石市立取石中学校 【2名】  
9月25日(木)~26日(金) 高石市立高石中学校 【5名】  
11月11日(火)~12日(水) 和泉市立信太中学校 【5名】  
11月12日(水)~13日(木) 和泉市立郷荘中学校 【5名】  
11月18日(火)~19日(水) 和泉市立石尾中学校 【3名】  
11月19日(水)~20日(木) 忠岡町立忠岡中学校 【5名】  
1月29日(木)~30日(金) 高石市立高南中学校 【4名】  
2月3日(火) 和泉市立南松尾中学校(職業意識調査) 【10名】

③ 教員等研修

教員等の研修を行い、連携を深めた。

7月30日(水) 全国歴史教育協議会第55回大阪大会  
第4分科会「高等学校と弥生文化博物館との連携促進」 【50名】  
8月1日(金) 全国歴史教育研究協議会 【30名】  
8月12日(火) 大阪府教育センター研修(カリナビ研修) 【24校・24名】  
8月15日(金) 高校教員セミナー 【16校・16名】  
8月19日(火)・20日(水) 大阪府初任者研修 【3校・9名】  
8月22日(金) 小中教員セミナー 【17校・21名】  
10月18日(土) 和泉市教育センター社会科の会 【6名】

④ 子ども一日館長 3月14日(土) 泉大津市立楠小学校2名(任命式、講演会挨拶、BYツアー) 【9名】

⑤ 中学生フレッシュコンサート 3月25日(水)

和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校 【152名】

## 6. 「どこでも博物館」事業

### (1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

① 大阪府立狭山池博物館

【入館者数：12,145名】

ア. 開催期間 平成26年4月26日(土)~5月25日(日)

- イ. 内 容 「くらべてみよう、最後の縄文土器と最初の弥生土器」
- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 【入館者数：13,383名】
- ア. 開催期間 平成26年4月1日(火)～平成27年3月31日(火)
- イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 【入館者数：68,697名】
- ア. 開催期間 平成26年4月1日(火)～平成27年3月31日(火)
- イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ④ 大阪府立中央図書館
- ア. 開催期間 平成26年8月26日(火)～9月21日(日)
- イ. 内 容 「卑弥呼御膳」「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」
- ⑤ 老岐市立一支国博物館 【入館者数：26,439名】
- ア. 開催期間 平成26年11月1日(土)～平成27年3月31日(火)
- イ. 内 容 弥生博紹介展示

## (2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

- ① ふれあいまつり2014 【参加者数：95名】
- ア. 開催日 5月5日(月祝)
- イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
- ウ. 連携先 池上曾根弥生学習館
- ② まなぼスタジオ 【参加者数：11名】
- ア. 開催日 6月21日(土)
- イ. 内 容 「紙すきで短冊づくり」
- ウ. 連携先 あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ
- ③ うえろくこどもワークショップ 【参加者数：10名】
- ア. 開催日 7月31日(木)
- イ. 内 容 「ミニチュア竪穴住居」「勾玉アクセサリー」
- ウ・連携先 近鉄百貨店上本町店
- ④ 関西大学博物館キッズミュージアム 【参加者数：893名】
- ア. 開催日 8月1日(金)
- イ. 内 容 「狩人きぶん」
- ウ. 連携先 関西大学
- ⑤ 音☆楽市 【参加者数：69名】
- ア. 開催日 8月2日(土)
- イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
- ウ. 連携先 和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会
- ⑥ ハスフェスタ 【参加者数：64名】

- ア. 開催日 8月8日(金)  
 イ. 内容 「消しゴムまが玉を作ろう」  
 ウ. 連携先 泉南市埋蔵文化財センター
- ⑦ あべの☆こども博覧会 【参加者数:206名】  
 ア. 開催日 8月10日(日)～8月13日(水)  
 イ. 内容 「低融合金で銅鐸をつくろう」「銅鐸パズル」  
 ウ. 提携先 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑧ 夏のいろいろ体験塾 【参加者数:24名】  
 ア. 開催日 8月16日(土)  
 イ. 内容 「たて穴住居を作ろう！」  
 ウ. 提携先 西宮阪急
- ⑨ ミニ実習 弥生博物館がやってきた！ 【参加者数:27名】  
 ア. 開催日 8月17日(日)、1月12日(月祝)  
 イ. 内容 「石膏でつくった銅鐸に色をぬろう」  
 「オリジナル考古楽カードで遊ぼう！学ぼう！ーオリジナル勾玉も作れちゃうー」  
 ウ. 提携先 きしわだ自然資料館
- ⑩ 卑弥呼の時代の絵を描こう優秀作品展関連 【参加者数:70名】  
 ア. 開催日 9月13日(土)、9月20日(土)  
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」  
 ウ. 提携先 大阪府立中央図書館
- ⑪ 高校軽音フェスタ in 弥生の森 2014 【参加者数:140名】  
 ア. 開催日 10月4日(土)・10月5日(日)  
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」  
 ウ. 提携先 和泉市文化財活性化推進実行委員会
- ⑫ 第36回和泉市商工まつり 【参加者数:258名】  
 ア. 開催日 10月25日(土)、10月26日(日)  
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」  
 ウ. 連携先 和泉市商工会議所
- ⑬ 全国古代体験フェスティバル 【参加者数:200名】  
 ア. 開催日 11月1日(土)  
 イ. 内容 「弥生の布のコースターづくり」、「考古楽カルタ」  
 ウ. 提携先 兵庫県立考古博物館
- ⑭ JAいずみの農業まつり 【参加者数:75名】  
 ア. 開催日 11月16日(日)  
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」  
 ウ. 提携先 JAいずみの



### (3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① 八尾市立しおんじやま古墳学習館  
4月5日(土)「古代吉備のまじない文化と河内・大和」  
当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：47名】
- ② 古代学研究会4月例会  
4月19日(土)「吉備の呪的文様～その非対称性～」  
当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：30名】
- ③ 近鉄文化サロン 考古学からみる古代の生活2  
6月19日(木)「東北、縄文時代の土器文化」 当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数：42名】  
8月21日(木)「最古の分銅が物語るもの」 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：49名】  
11月20日(木)「ナベの古今東西－中世石鍋の生産と流通－」 当館学芸員 柴田妃三光 【参加者数：49名】  
2月19日(木)「妊娠・出産・後産の考古学」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数：58名】  
3月19日(木)「日本の貨幣のはじまり－富本銭と和同銭－」 当館館長 黒崎 直 【参加者数：67名】
- ④ 桃山学院大学出張講義  
6月25日(水)「博物館の現状と展望－歴史博物館の立場から－」  
当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数：52名】
- ⑤ 柏原市立歴史資料館 文化財講演会  
7月26日(土)「土偶と石棒からみた弥生の始まり」  
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数：43名】
- ⑥ 奈良大学・皇學館大学 洋上実習  
8月19日(火)「博物館学講義」  
当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：50名】
- ⑦ 大阪計量士会 9月例会講演  
9月1日(月)「弥生分銅－国内最古の分銅発見と古代ロマン－」  
当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：59名】
- ⑧ 岡山県古代吉備文化財センター開所30周年記念事業シンポジウム  
9月13日(土)「三世紀の吉備を読み解く」  
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数：500名】
- ⑨ 考古学講座 最新考古学事情2014年度後期(よみうり伊丹文化センター)  
10月4日(土)「東日本の弥生石器－石鏃を中心に－」  
当館学芸員 瀬尾晶太 【参加者数：6名】
- ⑩ 枚方古代史友会 10月度研修会  
10月19日(日)「弥生文化の特質－稲・金属・戦争－」  
当館学芸員 瀬尾晶太 【参加者数：20名】
- ⑪ 講演会・シンポジウム「ヤマト王権はいかにして始まったか Part II」(田原本町青垣生涯学習センター)

【参加者数：421名】

11月22日(土)「土器類の移動・交流からみた吉備と近畿」当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

⑫ 考古学研究会関西例会

11月22日(土) 研究報告「東日本における磨製石鏃の成立に関する一試案」 【参加者数：22名】

当館学芸員 瀬尾晶太

⑬ 高齢者大学校 自然文化を楽しむ科

【参加者数：56名】

1月14日(水)「古代の「食」を考える」

当館学芸員 柴田妃三光

## 7. 「体験する博物館」事業

### (1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。

① 夏休み弥生歴史クラブ

7月26日(土)「弥生時代の住居を学ぼう」 【参加者数：90名】

7月27日(日)「弥生人の食べ物を学ぼう」 【参加者数：148名】

8月3日(日)「弥生土器を学ぼう」 【参加者数：73名】

② 夏休みフェスタ

【参加者数計：1,793人】

8月23日(土)「カイトくんはどこ?」、「民族衣装を着てみよう!」、「オリエント彩文土器×弥生土器 土器パズル」、「円筒印章をおしてみよう」、「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう!」、「カラムシ」ミニポシェットをつくろう!」、「メソポタミアな! プラ板キーホルダーづくり」

【参加者数計：741名】

8月24日(日)「カイトくんはどこ?」、「民族衣装を着てみよう!」、「オリエント彩文土器×弥生土器 土器パズル」、「円筒印章をおしてみよう」、「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう!」、「メソポタミアな! プラ板キーホルダーづくり」、「大昔の生き物のおはなしと化石レプリカづくり」、「石をみがこう!」

【参加者数計：1,052名】

③ ナイトミュージアム

11月3日(土) 【参加者数：6名】

11月15日(土) 【参加者数：2名】

11月30日(日) 【参加者数：16名】

④ 関西文化の日ワークショップ

【参加者数計：1,041名】

11月15日(土)「カイトの挑戦状!」、「海渡をさがせ!」、「土器・銅鐸パズル」、「まが玉をみがいてつくろう」、「土器でお米を炊いてみよう」、「狩人キブン」、「まゆ玉サンタをつくろう」

【参加者数計：330名】

11月16日(日)「カイトの挑戦状!」、「海渡をさがせ!」、「土器・銅鐸パズル」、「土器でお米を炊いてみよう」、「狩人キブン」、「描いて、つけて、古代人になろう!」、「計量クイズ」大阪府計量検定所、「家庭用計量器無料診断」大阪府計量検定所、「健康器具体験」大阪府計量検定

所、「計量ひろば」大阪府計量検定所

【参加者数計：711名】

⑤ Let's 弥生体験

11月23日(日)「火おこし・弓矢体験・まが玉づくり」	【参加者数：60名】
11月30日(日)「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」	【参加者数：46名】
12月7日(日)「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」	【参加者数：35名】
12月14日(日)「火おこし・脱穀・米炊き」	【参加者数：34名】
12月20日(土)「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(バトル)」	【参加者数：37名】
1月11日(日)「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」	【参加者数：33名】
1月17日(土)「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(バトル)」	【参加者数：15名】
1月25日(日)「火おこし・まが玉づくり・考古楽カードで遊ぼう(バトル)」	【参加者数：30名】
2月1日(日)「火おこし・脱穀・米炊き」	【参加者数：44名】
2月15日(日)「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(トランプ)」	【参加者数：33名】
2月21日(土)「火おこし・弓矢体験」	【参加者数：33名】
3月1日(日)「火おこし・弓矢体験・まが玉づくり」	【参加者数：41名】
3月15日(日)「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」	【参加者数：10名】
3月21日(土)「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(バトル)」	【参加者数：18名】

⑥ 冬のやよいミュージアム！

1月31日(土)「土器・銅鐸パズル」、「古銭ワークショップPart1 こすって、うつそう!」、「古銭ワークショップ 鑄造体験」、「チリメンモンスターを探せ!」きしわだ自然資料館、「脱穀&土器でお米を炊こう!」、「カイトとリュウさんの弥生ツアー」、「考古楽カード属性バトル大会」	【参加者数計：936名】
2月1日(日)「土器・銅鐸パズル」、「古銭ワークショップPart2 こすって、うつそう!」、「古銭ワークショップ 鑄造体験」、「丸玉づくり」池上曾根弥生学習館、「古墳ストラップづくり」しおんじやま古墳学習館、「考古楽カード属性バトル大会 VS ハニワこうてい」しおんじやま古墳学習館、「カイトとリュウさんの弥生ツアー」、「考古楽カードかるた大会」	

【参加者数計：1,163名】

⑦ 館内体験

4月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：8名】
4月26日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：6名】
5月10日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：6名】
5月24日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：3名】
6月14日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：15名】
6月28日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：8名】
7月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：10名】
7月26日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：15名】
8月9日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：15名】
9月13日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：10名】

9月27日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：13名】
10月11日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：13名】
10月25日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：35名】
11月8日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：8名】
11月22日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：5名】
12月13日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：8名】
1月10日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：5名】
1月24日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：18名】
2月14日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：11名】
2月28日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：8名】
3月14日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数：52名】

⑧ 弥生フェスティバル

- 3月25日(水)「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、「竪穴住居で写真撮影」、「花のしおりをつくろう」大阪府立花の文化園、「ハニワこうていとカードバトル」しおんじやま古墳学習館、「竪穴住居をたてよう」「カイトとリュウさんの弥生ツアー」「弥生博のカイトとリュウさん登場！」(フルル・ハニワこうてい) 【参加者数計：693名】
- 3月26日(木)「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「竪穴住居で写真撮影」、「カイトの挑戦状」、「ヤヨイなハンコでポストカードづくり」泉南市埋蔵文化財センター、「マール勾玉グッズをつくろう」近つ飛鳥博物館、「あがれ 弥生の空に！連風プロジェクト」、「鏡を型取りしてみよう」、「考古楽カードを使って遊ぼうーカルタ編ー」、「やあ！ヤァ！弓矢体験」、「ギャラリートーク「弥生博の新しい魅力」」 【参加者数計：814名】
- 3月27日(金)「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、「竪穴住居で写真撮影」、「丸玉づくり」池上曾根弥生学習館、「貝殻でアクセサリーをつくろう」きしわだ自然資料館、「竪穴住居をたてよう」、「消しゴムをつくろう、弥生の飾り」、「考古楽カードを使って遊ぼうーランプ編ー」 【参加者数計：810名】
- 3月28日(土)「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、「竪穴住居で写真撮影」、「考古楽カードを使って遊ぼうーカルタ編ー」、「ギャラリートーク「弥生博の新しい魅力」」、「貝殻で見る・知る、弥生の食」、「切ってなっとく、石器体験」、「やあ、ヤァ、弓矢体験」、「体験！弥生の台所」 【参加者数計：706名】
- 3月29日(日)「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、「竪穴住居で写真撮影」、「むすぶ・たたく・ひらく～弥生から宇宙への算数～」小谷城郷土館、「つくろうアナタだけの、弥生の服」、「織ってつくるープレスレット編ー」、「考古楽カードを使って遊ぼうーバトル編ー」 【参加者数計：469名】

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽！2014」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

4月19日(土)「弥生のこめつき体験」	【参加者数：20名】
5月17日(土)「石器を使ってみよう」	【参加者数：8名】
6月21日(土)「土器に触れてみよう」	【参加者数：23名】
7月19日(土)「火おこし」	【参加者数：28名】
8月16日(土)「鳥形かみひこうき」	【参加者数：14名】
9月20日(土)「土器に触れてみよう」	【参加者数：17名】
10月18日(土)「脱穀」	【参加者数：24名】
11月15日(土・関西文化の日)「石器をつかってみよう」	【参加者数：32名】
12月20日(土)「弓矢体験」	【参加者数：37名】
1月17日(土)「火おこし」	【参加者数：15名】
2月21日(土)「土器に触れてみよう」	【参加者数：49名】
3月21日(土)「火おこし」	【参加者数：31名】

## 8. 広報普及事業

### (1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間	平成27年3月25日(水)～29日(日)	5日間	【入館者数：5,322名】
イ. 入館料	無料		
ウ. イベント	前掲		

### (2) 要覧の作成

『平成25年度弥生文化博物館要覧』(平成27年3月31日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

### (3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

### (4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語)を配布した。

### (5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート(8種)を用意し、ホームページからダウンロードして利用いただけるようにした。

### (6) 解説シート

常設展示の解説シート(7種)及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、また、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

### (7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、

弥生文化に関する情報を発信した。

#### (8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

#### (9) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブックによる情報提供を行った。【年間アクセス件数：348,253件】  
また、当館の展示物、催しを紹介する四コマ漫画をホームページで情報提供した。

### 9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。【資料9件・79点／写真64件・167点】

### 10. 研究事業

国内外の研究者との学術交流

国内大学、教育委員会等研究者 【96名】

海外研究者 【2名】

#### 11. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

#### 12. 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館活動支援事業

館キャラ連携プロジェクト実行委員会の中核館として、マンガ、解説シート、考古楽カード、キャラクター音声ガイド、パペット、着ぐるみの製作を行った。【補助事業費：5,020,000円】

#### 13. サービス事業

##### (1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

##### (2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる音声ガイド（いずれも常設展示）を用意し、無料で貸し出しを行った。

##### (3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

##### (4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないしは更新した。

- ・ 経年劣化による空調機能低下を防ぐため、冷温水発生機の部分的更新を行った。
- ・ 特別展示室の展示ケースの一部にLED電球を導入した。
- ・ 使いやすさ等の機能が向上したAEDを購入した。
- ・ 防水機能を充実させるため、屋上防水補修工事を実施した。
- ・ コンサート出演者が演奏時に使用する椅子を購入した。
- ・ 展示室での解説シートの設置及びポスター、チラシによるさらなる情報提供を図るため、大型イーゼルとチラシスタンドを購入した。

#### 14. 自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

#### 15. 入館者数及び入館料一覧表

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,444	3,395	4,839	220,900	53 日間
割合%	9.4	7.4	7.9		
春季企画展示	651	5,191	5,842	125,400	20 日間
割合%	4.3	11.4	9.6		
春季特別展	4,847	7,275	12,122	1,836,340	50 日間
割合%	31.7	15.9	19.8		
夏季特別展	3,843	5,715	9,558	1,322,620	47 日間
割合%	25.1	12.5	15.7		
秋季特別展	3,297	11,951	15,248	1,081,280	76 日間
割合%	21.6	26.1	25.0		
冬季企画展	1,204	12,228	13,432	369,100	57 日間
割合%	7.9	26.1	22.0		
合 計	15,286	45,755	61,041	4,955,640	303 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 25 年度実績			61,024	4,957,480	303 日間
平成 24 年度実績			57,612	3,956,580	305 日間

(金額は税込額)

## V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

### 1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

### 2. 特別展企画展事業

#### (1) 春季特別展「ヤマト王権と葛城氏—考古学からみた古代氏族の盛衰—」

【総入館者数 28,402 名・特展入館者数：11,072 名・展示室 194 名/日】

ア. 開催趣旨 百舌鳥・古市古墳群が形成されたころ、大王家と婚姻関係を結び活躍したとされる葛城氏は、奈良県西部の葛城地域を拠点とした大豪族です。馬見丘陵に多数築かれた大型前方後円墳や、御所市に所在する古墳群からは、豊富な副葬品の出土が知られており、葛城地域を基盤とした豪族たちの、その勢力の大きさをうかがい知ることができます。また近年、首長居館や生産遺跡の調査が大規模に進められ、首長祭祀の実態や、渡来人による先進技術を用いた生産活動についても検討が進められています。

今回の展覧会では葛城地域の古墳とその出土品を中心に、大豪族葛城氏の盛衰を考古学資料からあとづけ、ヤマト王権を支えた古代氏族の実像を探ります。

イ. 開催期間 平成 26 年 4 月 26 日 (土)～6 月 29 日 (日) 【会期：57 日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は 9 (6) 参照

エ. 講演会等

#### 春季特別展講演会

・5 月 11 日 (日)「葛城の地と尾張氏・葛城氏」水野正好氏 (奈良大学名誉教授) 【367 名】

・5 月 25 日 (日)「文献からみた葛城氏の実態とヤマト王権」

加藤謙吉氏 (成城大学・中央大学兼任講師) 【335 名】

・6 月 22 日 (日)「古墳からみた葛城氏の実像」白石太一郎 (当館館長) 【460 名】

#### 考古学セミナー

・6 月 2 日 (日)『最新の調査成果が語る、葛城の遺跡と古墳』 【325 名】

「栗山古墳と葬送儀礼」井上義光氏 (広陵町教育委員会)

「葛城を掘る」岡田憲一氏 (奈良県立橿原考古学研究所)

「葛城氏の地域開発戦略と渡来人」青柳泰介氏 (奈良県立橿原考古学研究所)

#### ミニシンポジウム「葛城とヤマト王権」

・5 月 18 日 (日)『葛城とヤマト王権の政治拠点をさぐる』 【356 名】



「考古学からみた豪族居館」森本 徹（当館）

「葛城氏王族論－4・5世紀の倭王権－」古市 晃氏（神戸大学）

・6月8日（日）『出土品からみた葛城の古墳とヤマト王権』 【295名】

「銅鏡からみた葛城の古墳」森下章司氏（大手前大学）

「埴輪からみた葛城の古墳」和田一之輔氏（奈良文化財研究所）

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日：4月27日（日）、5月6日（火・振）、5月10日（土）、5月31日（土）、

6月14日（土）、6月29日（日） 【6回・計224名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 6月1日（日）「南葛城の古墳と遺跡－葛城氏の遺跡をめぐる－」 【57名】

6月21日（土）「南葛城の古墳と遺跡－葛城氏の遺跡をめぐる－」 【40名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月26日（土）地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

## （2）夏季企画展「大阪平野はむかし海だった－海に生きたおおさかの古代人－」

【総入館者数 15,575名・特展入館者数：5,389名・展示室 104名/日】

ア. 開催趣旨 大阪平野はかつて、縄文時代には海でした。この海は河内湾と呼ばれ、次の弥生時代には河内湖となり、やがて平野へと姿を変えていきました。このようなうつり変わりが、遺跡から見つかる魚骨や貝の種類などから明らかにされてきました。この独特な環境の変化と、その中で生きた人々について考えることをきっかけに、海からおおさかの古代にせまってみます。

海にのぞむおおさかでは、弥生時代や古墳時代においても、海と人との関わりは深く、魚やタコをとり、海水から塩をつくることは、コメづくりとならび重要な生活の営みでした。また、現代のように鉄道や道路が発達していない時代には、海はもっとも重要な交通路でもありました。一度に多くの品物を運べることから、船はたびたび利用され、また多くの渡来人が、大陸や朝鮮半島から船でおおさかの地にたどり着き、新しい文化をもたらしました。

海をたくみに利用しながら生きた、おおさかの古代人の知恵を出土品からさぐります。

イ. 開催期間 平成26年7月19日（土）～9月15日（月・祝） 【会期：52日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 小冊子の詳細は9（6）参照

エ. 講演会・体験学習

展示に即した講演会、セミナーを実施。小・中学生を対象とした船づくり、勾玉づくりなど体験学習を実施した。

#### 講演会

- ・8月3日(日)「ちめの海に生きた古代人」

積山 洋氏(公益財団法人 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)【126名】

- ・9月7日(日)「5世紀、河内湖は倭国文明化のセンターだった」

白石太一郎(当館館長) 【123名】

#### 考古学セミナー

- ・8月31日(日)「海人の古墳を考える」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【95名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。【7回・計139名】

実施日:7月27日(日)、8月2日(土)、8月30日(土)、9月15日(土)

また、こどもむけに、「おおさかの海と古代人のはなし」とした展示解説を実施した。

実施日:8月13日(水)、8月14日(木)、8月15日(金)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

### (3) 秋季特別展「箸墓以降—邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ—」

【総入館者数 21,389名・特展入館者数:7,831名・展示室140名/日】

ア. 開催趣旨 最古の大型前方後円墳である箸墓古墳の出現は、初期ヤマト政権成立の象徴であり、その後の古墳の方向性を定めた大きな画期と考えられます。以後、奈良盆地東南部には倭国王墓と考えられる複数の大型前方後円墳が営まれ、初期ヤマト政権の展開をうかがうことができます。また、それらを含む奈良盆地東南部の複数の古墳群には、政権内部の構成が反映されていると考えられる点で重要です。さらに、同時代の畿内各地の古墳や古墳群からは、首長や有力者集団と初期ヤマト政権とのかわりあいを見ることができます。

今回の展覧会では、古墳時代前期における政権中枢である奈良盆地東南部や、それを取り巻く畿内各地における古墳やその出土品に焦点を当て、初期ヤマト政権の成立と展開について考えたいと思います。

イ. 開催期間 平成26年10月4日(土)～12月7日(日) 【会期:56日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

## 秋季特別展講演会

- ・11月9日(日)「ヤマト政権成立過程と畿内の勢力図」

福永伸哉氏(大阪大学大学院教授)【250名】

- ・11月23日(日)「『古事記』・『日本書紀』とヤマト王権の成立」

吉村武彦氏(明治大学文学部教授)【264名】

- ・11月30日(日)「邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ」白石太一郎(当館館長)【353名】

12月7日(日)「山辺の道・上ツ道と王宮・陵墓」水野正好氏(奈良大学名誉教授)【150名】

## シンポジウム

- ・10月26日(日)『奈良盆地東南部の前期大型前方後円墳を考える』【202名】

「埴輪からみた奈良盆地東南部における古墳時代前期の大型古墳」加藤一郎氏(宮内庁書陵部)

「桜井市域の前期大型前方後円墳」福辻 淳氏(桜井市教育委員会)

「天理市域の前期大型前方後円墳」青木勘時氏(天理市教育委員会)

討論司会/白石太一郎(当館館長)

## 考古学セミナー

- ・11月16日(日)『最近の調査研究成果から探る、淀川水系の前期古墳』【182名】

「弁天山古墳群と三島地域の前期古墳」内田真雄氏(高槻市立今城塚古代歴史館)

「北河内における前期首長墓の動向と王権」

西田敏秀氏(公益財団法人 枚方市文化財研究調査会)

「向日丘陵古墳群の消長と倭王権」梅本康広氏(公益財団法人 向日市埋蔵文化財センター)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日:10月5日(日)、10月18日(土)、11月1日(土)、11月15日(土)、

11月29日(土)、12月6日(土) 【6回・計171名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 11月2日(日)「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」【44名】

11月24日(月・振)「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」【24名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 10月4日(土)地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

## (4) 冬季特別展「歴史発掘 おおさか2014—大阪府発掘調査最新情報—」

【総入館者数17,747名・特展入館者数:4,233名・展示室85名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。こうした最新の発掘調査成果

から遺跡を身近に感じとり、また、出土品を通して当時の生活や社会について探り、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただきたいと思います。

今回、大阪府内の最新発掘調査の成果を府民に広く知ってもらう機会とし、大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきたいと思います。

- イ. 開催期間 平成27年1月24日(土)～3月22日(日) 【会期：50日間】  
ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照  
エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

#### 冬季特別展講演会

- ・3月15日(日)「輝く古代大阪史—新発見文物の華—」水野正好(奈良大学名誉教授) 【中止】
- ・3月22日(日)「堺市長山古墳の調査の語るもの」白石太一郎(当館館長) 【166名】

#### 特集展示講演会

- ・2月15日(日)『三島西部の古墳時代後期首長墓系譜を探る』 【137名】  
「青松塚古墳の調査と福井古墳群」吉井秀夫氏(京都大学)  
「郡古墳群と南塚古墳・海北塚古墳」清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館)

#### 冬季特別展調査報告会

- ・2月1日(日)【79名】  
「千提寺南遺跡—北摂山地の縄文人の営み」川瀬貴子氏(公益財団法人大阪府文化財センター)  
「長原遺跡の条里水田と古道—古代丹比郡条里と磯齒津(しはつ)道—」  
京嶋 覚氏(公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所)  
「止々呂美城跡—中世山城の縄張りとお通路—」  
信田真美世氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- ・2月22日(日)【120名】  
「河内長野市鳩原遺跡の調査—4400年前のムラー」林日佐子氏(大阪府教育委員会)  
「長山古墳—百舌鳥古墳群出現直前の風景—」海邊博史氏(堺市文化財課)  
「西浦門前遺跡—後鳥羽上皇ゆかりの水無瀬離宮関連遺跡—」  
木村友紀氏(島本町教育委員会)

- オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。

1月25日(日)、1月31日(土)、2月8日(日)、3月7日(日) 【4回・計59名】

- カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

- キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

### 3. 「市町村と連携する博物館」事業

#### (1) 連携展示事業

地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催・後援の協力を得た。また、冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

春季特別展 主催：本館、毎日新聞社

後援：河合町、広陵町、上牧町、上牧町教育委員会、葛城市、御所市、高取町、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

夏季企画展 主催：本館、堺市

後援：羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

秋季特別展 主催：本館、読売新聞社

後援：天理市、天理市教育委員会、桜井市、向日市、枚方市、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

冬季特別展 主催：本館

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

#### (2) スポット展示

大阪府内における主要古墳の調査成果・研究成果を、資料所蔵者の協力のもと、ロビーあるいは常設展示室において公開した。

【3回 84日・計 9,620名】

・8月16日(土)～8月24日(日)「峯ヶ塚古墳の出土遺物に学ぶ」

【8日・3,017名・377名/日】

・8月30日(土)～9月28日(日)「茨木市海北塚古墳の出土品」

【26日・2,370名・91名/日】

・1月24日(土)～8月22日(日)「摂津・三島西部の古墳時代後期首長墓」

【50日・4,233名・85名/日】

### (3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

## 4. 「府民が参加する博物館」事業

### (1) 近つ飛鳥常設展示解説(入門講座)・土曜講座(オーサカ発 調査研究最前線)

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、常設展示の内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。

#### ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。

目標通り計10回を実施した。

【10回・計114名】

- ・第75回 5月10日(土)「横穴式石室と渡来文化」
- ・第76回 6月14日(土)「古墳づくりのムラを考える」
- ・第77回 7月11日(土)「一須賀古墳群の副葬品の特性」
- ・第78回 8月9日(土)「円筒埴輪の見方」
- ・第79回 9月13日(土)「石棺からみる大阪の古墳」
- ・第80回 10月11日(土)「古墳時代の集落を考える」
- ・第81回 11月8日(土)「近つ飛鳥と木簡の世界」
- ・第82回 12月13日(土)「レーダー探査を知ろう」
- ・第83回 2月14日(土)「竪穴式石室の石材と構造」
- ・第84回 3月14日(土)「一須賀の須恵器」

#### イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標通り計10回を実施した。

【10回・計441名】

- ・第55回 5月24日(土)「馬見古墳群における階層構造」 鈴 千夏(当館学芸員)
- ・第56回 6月28日(土)「対外交易からみた葛城氏と大王家」

森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

- ・第57回 7月26日(土)「土師器からみた須恵器出現時期遡上の可能性」

市村慎太郎(当館総括学芸員)

- ・第58回 8月23日(土)「海とおおさかの古代人—漁撈具から探る—」

飯田浩光(当館学芸員)

- ・第59回 9月27日(土)「襟付短甲の副葬様相」 森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

- ・第60回 10月25日(土)「特殊壺と二重口縁壺、壺形埴輪」

市村慎太郎(当館総括学芸員)

- ・第61回 11月22日(土)「前期古墳における副葬品配置」 鈴 千夏(当館学芸員)
- ・第62回 1月24日(土)「石製模造品の地域性」 永山はるか(当館学芸員)
- ・第63回 2月21日(土)「大阪湾沿岸における漁撈具出土集落の展開について」

飯田浩光(当館学芸員)

- ・第64回 3月21日(土)「渡来系装身具とその技術」 廣瀬時習(当館総括学芸員)

## (2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(金・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【460名】

## (3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

- ・4月29日(月・祝) 初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・金剛高校・懐風館高校・上宮太子高校 【6校・380名】
- ・11月3日(月・祝) 初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・金剛高校・藤井寺高校・藤井寺工科高校 【6校・339名】

## (4) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

- ・5月4日(土・祝) 【18名】
- ・7月20日(日) 【21名】
- ・8月3日(日) 【39名】
- ・8月10日(日) 【0名】台風による臨時休館
- ・8月16日(土) 【21名】
- ・8月23日(土) 【11名】

## (5) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・5月5日(日・祝)【当日雨天】

【参加者 9名】

## (6) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。

【14回・計：85,157名】

- ・3月21日(金・祝)～4月13日(日)「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展
- ・4月15日(火)～4月20日(日)「かなん写真クラブ第15回写真展」
- ・4月25日(金)～5月13日(火)「第6回 ふるさと俳画展」
- ・5月18日(日)～6月21日(土)「ダンボールって楽しい!」
- ・8月2日(土)～8月31日(日)「2014年夏休み 児童はにわ展」
- ・9月4日(木)～9月15日(月)「なないろの故郷 古市古墳群と二上山」
- ・9月20日(土)～10月13日(月・祝)「写真展 想いのままに…昭和から平成へ」
- ・9月17日(水)～9月30日(火)

「竹内街道・横大路(大道)1400年フォトコンテスト入賞作品展」

- ・10月15日(水)～11月9日(日)「松岳山古墳復元」
- ・11月11日(火)～11月16日(日)「MOA美術館南河内児童作品展」
- ・11月18日(火)～11月30日(日)「よつばの会 油画作品展」
- ・2月14日(土)～3月8日(日)「三田崇博 世界遺産写真展～オセアニアの遺産～」
- ・3月10日(火)～3月29日(日)「ふくろう散歩 近つの古墳と「南河内・人と自然」」
- ・3月31日(火)～4月12日(日)「太子切り絵サークル春の作品展」

## (7) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。

【登録 25名・協力延べ人数 99名】

## (8) その他の事業

ア. 開館20周年事業の実施

3月25日(火)に開館20周年を迎えたことを記念して、講演会、ポスター展を平成25年度か



ら継続して開催した

### 記念講演会

4月13日(日)

【239名】

「三角縁神獣鏡研究、この20年の展開」福永伸哉氏(大阪大学大学院教授)

「古墳からみたヤマト王権の王統系譜」白石太一郎(当館館長)

### ポスター展

「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展

【13日間・4,071名(平成26年度)】

会期:3月21日(金・祝)～4月13日(日)

【会期計 22日間・11,149名】

### イ. うめまつりの開催

2月27日(金)～3月1日(日)実施。講演会などを開催。

### 講演会

・2月28日(土)

【445名】

「生きる力」安藤忠雄氏

・3月1日(日)

【182名】

「梅鉢御陵の一つ 推古天皇陵を考える」白石太一郎(当館館長)

### ウ. さくらまつりの開催

3月28日(土)～3月29日(日)実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【107名】、古代衣裳着用体験【171名】などを実施。

### エ. 講演会「生きる力」の開催

2月28日(土)うめまつりの一環として、近つ飛鳥梅いっぱい委員会主催、安藤忠雄氏講演会を、本館ホールを会場に開催した。

【445名】

### オ. 大手前大学連携講座「本物に触れる！三角縁神獣鏡最新研究」の開催

2月7日(土)大手前大学史学研究所と連携し、実物資料の観察とともに、最新の研究成果を紹介する講座を開催した。

【87名】

「三角縁神獣鏡と古代の銅鏡」 森下章司氏(大手前大学 教授)

「三角縁神獣鏡の副葬様相」 森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

## 5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

### (1) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

小・中学校【59件・2,507名】 高校・大学【19件・453名】

## (2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促す近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

## (3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。「近つの楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」

【6種計 3,180 枚】

## (4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【17件・計 455名】

4月6日(日) 大阪芸術大学 文芸学科フレッシュマンキャンプ

5月8日(木) 大阪芸術大学 工芸学科 研修

5月13日(火) 奈良大学 文学部 文化財学科 植野研究室 研修

5月17日(土) 大阪教育大学 美術専攻

5月24日(土) 大阪大谷大学 歴史文化学科新入生研修

7月16日(水) 大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科 実習

8月6日(木) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」

8月7日(金) 奈良大学 通信教育部 博物館実習受入れ

8月13日(水)～17日(日) 博物館実習

10月9日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、緑地環境学科 樹木実習

10月5日(日) 奈良大学 博物館学講座

10月12日(日) 奈良大学 博物館学講座

11月20日(金) 奈良女子大学 考古学講座

11月28日(金) 大阪芸術大学 文芸学科 研修

12月20日(土) 豊田市社会科自主研修グループ

1月17日(土) 大阪芸術大学 博物館学レポート

2月5日(木) 富田林市教育委員会 不適応教室

## (5) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。 【3件・計20名】

10月24日（金）河南中学校 職業体験

11月5日（水）～7日（金）太子町立中学校 職業体験

11月6日（木）～7日（金）富田林市立喜志中学校 職業体験

#### （6）教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。 【3件・計16名】

7月23日（水）教職員初任者研修

8月22日（金）・12月25日（木）教職員自主研修

#### （7）一日館長の選定

地元住民、特に児童に対して、地域の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。太子町立磯長小学校、山田小学校の6年生徒2名を選定。8月10日に就任式をはじめ、白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事の予定であったが、台風による臨時休館のため中止となった。夏休み終了後、各校において就任式を行い、児童はにわ展の表彰を行った。

#### （8）地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用してもらった。

冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。

#### （9）2014夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った14校の埴輪づくりの作品展を実施した（8月2日～8月31日）。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定し、8月10日に表彰式を行う予定であったが、台風による臨時休館のため中止となった。表彰は、はにわ展終了後、各校において行った。 【8,200名】

### 6. 「どこでも博物館」事業

#### （1）れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として古墳めぐりを開催。

- ・4月20日(日)「近つ飛鳥の終末期古墳をめぐる①」 【参加人数：25名】
- ・6月1日(日)「南葛城の古墳と遺跡」 【参加人数：57名】
- ・6月21日(土)「南葛城の古墳と遺跡」第2回 【参加人数：40名】
- ・9月21日(日)「東大阪の古墳をめぐる①」 【参加人数：22名】
- ・11月2日(日)「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」 【参加人数：44名】
- ・11月24日(月・振)「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」第2回 【参加人数：24名】
- ・12月14日(日)「葛城山東麓の古墳をめぐる」 【参加人数：21名】
- ・3月8日(日)「京都太秦の古墳をめぐる」 【参加人数：24名】

## (2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

### ①出張講座(当館学芸員)

- ・6月7日(土) 八尾市立しおんじやま古墳学習館 しおんじやま学び場  
「土器の研究から見える八尾の古墳時代」市村慎太郎 【25名】
- ・6月28日(土) 弥生文化博物館 考古学セミナー  
「岩手県での発掘調査」廣瀬時習 【169名】
- ・7月12日(土) 奈良大学 オープンキャンパス講演会  
「古墳時代の渡来人と墓制の変革」森本 徹 【450名】
- ・7月25日(土) 岩手県埋蔵文化財センター 職員研修会  
「岩手県での発掘調査」廣瀬時習 【53名】
- ・8月2日(土) 本の学校(米子市) むきばんだ弥生塾  
「古墳の儀礼からみた山陰と近畿」森本 徹 【38名】
- ・8月22日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学  
「群集墳の出現と渡来人」森本 徹 【73名】
- ・8月29日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学  
「群集墳の終焉と古代国家の成立」森本 徹 【73名】
- ・11月1日(土) よみうり伊丹文化センター  
「土器から見た前期古墳とヤマト王権」市村慎太郎 【4名】
- ・11月2日(日) 紀伊風土記の丘資料館 特別展シンポジウム

- 「須恵器誕生」森本 徹 【107名】
- ・11月9日(日) いづみ健老大学 市民公開講座
    - 「古市古墳群を歩く」森本 徹 【20名】
  - ・11月21日(金) 韓国文化院 なみはや歴史講座
    - 「井戸と渡来人の集落」森本 徹 【20名】
  - ・11月22日(土) 伊丹生涯学習センター 伊丹ロマン事業地域歴史講座
    - 「古墳時代のムラと人々の暮らし」森本 徹 【68名】
  - ・12月16日(火) 奈良女子大学 考古学講演会
    - 「奈良時代火葬墓出現の歴史的意義」森本 徹 【14名】
  - ・12月21日(日) 枚方市立佐陀生涯学習市民センター 枚方古代史友会12月度研修会
    - 「喪葬儀礼からみた高松塚古墳の被葬者像」森本 徹 【25名】
  - ・2月21日(土) 栄中日文化センター 4世紀の倭のゆくえ
    - 「古墳文化の形成」森本 徹 【44名】

②出張ワークショップ(公的機関・組織) 【9団体・計685名】

- ・9月12日(金) 大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA 古代衣裳着用体験 【45名】
- ・9月13日(土) 道明寺天満宮 埴輪づくり 【22名】
- ・10月4日(土) 島本町放課後こども教室「勾玉づくり」 【67名】
- ・11月1日(土) 兵庫県立考古博物館「古代体験フェスティバル」  
和同開珎のストラップをつくろう【282名】
- ・11月8日(土) 川上小学校ふれあい祭り「勾玉づくり」 【16名】
- ・2月7日(日) 一津屋子供会「埴輪づくり」 【30名】
- ・2月11日(水・祝) 島本町人権文化センター「勾玉づくり」 【54名】
- ・3月15日(日) はびきの市民大学 こども考古学講座～ねん土でつくる埴輪編～ 【56名】
- ・3月26日(水) 弥生フェスティバル「マーブリング勾玉をつくろう」 【113名】

③出張ワークショップ(民間)

- 8月9日(土) あべのハルカス まなぼスタジオ「はにわ貯金箱」 【17名】
- 8月12日(土) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」 【30名】
- 11月1日(土) あべのハルカス「キッズ・チャレンジ考古学 鏡パズル」 【3名】

④でかける博物館講演会 in りそな銀行本店 【491名】

- 9月14日(日) 『邪馬台国から初期ヤマト政権へ』
- 「古代史からみた初期ヤマト王権」鈴木靖民氏(横浜市歴史博物館館長)
- 「考古学からみた邪馬台国から初期ヤマト王権」白石太一郎(当館館長)

座談会 司会：関口和哉氏（読売新聞大阪本社編集委員）

⑤でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活2』（近鉄文化サロン共催）

7月17日（木）「盾持ち人埴輪にせまる！」鈴 千夏（当館学芸員） 【52名】

9月18日（木）「古墳時代のアクセサリーと埴輪表現」廣瀬時習（当館総括学芸員） 【61名】

10月16日（木）「人物埴輪群像は何をものがたるのか」白石太一郎（当館館長） 【88名】

12月18日（木）「埴輪づくりのムラと土師氏」森本 徹（当館副館長兼学芸課長） 【88名】

1月15日（木）「円筒埴輪の成立にみる地域間交流と古墳祭祀」

市村慎太郎（当館総括学芸員）【76名】

### （3）出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。 【3件・計51,167名】

4月26日（土）～5月25日（日）大阪府立狭山池博物館

「南河内の渡来人―須賀古墳群における喪葬風俗とその変容―」 【12,145名】

6月28日（土）「近つ飛鳥博物館 in LIC はびきの」 【46名】

11月5日（水）～1月29日（木）高石市立図書館「高石の古墳と埴輪の魅力を探る」

【38,976名】

### （4）地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

5月3日（土・祝）道明寺合戦まつり 世界遺産銅鏡パズル 【100名】

6月22日（日）かなんフェスティバル 勾玉づくり 【129名】

10月12日（日）大宝まつり（勾玉講習会） 【100名】

11月2・3日（日・月）河南町 秋の文化祭典 【2,500名】

3月27・28日（金・土）「関西の歴史遺産展―タイムトリップ KANSAI―」パズル 【50名】

### （5）ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【HP更新202回 アクセス数116,544】

## 7. 「体験する博物館」事業

### （1）校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れ、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。 【28校・2,008名】

## （2）海の日工作室 帆船「かわち丸」をつくろう！

夏季企画展の内容に関連し、リサイクル品などを用いて船を工作し、臨時に設置したプールを航行させる体験学習を開催した。

・7月21日（月・祝） 【49名】

## （3）夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

・8月17日（日） 【157名】

## （4）こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

・7月27日（日） 【37名】

・8月2日（日） 【38名】

・8月24日（日） 【31名】

## （5）古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

・5月3日（金・祝）古墳時代まつり 当館 【55名】

・5月5日（日・祝）当館 【48名】

・9月12日（金）大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA 【45名】

・11月24日（月・祝）当館 【37名】

・12月14日（日）当館 【6名】

・2月1日（日）当館 【27名】

・3月28日（土）当館 【116名】

・3月29日（日）当館 【55名】

## (6) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものの製作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を実施した。 【12回・527名】

- ・ 4月19日(土) ゆらゆらガイコツ
- ・ 5月17日(土) ダンボールでいろいろ作って遊ぼう!
- ・ 6月21日(土) エスエル出発進行!
- ・ 7月19日(土) ペットボトルでけん玉作ろう!
- ・ 8月17日(日) 夏休みこども工作室
- ・ 9月20日(土) 傘袋で飛行機つくろう!
- ・ 10月18日(土) 輪ゴムでロケットを飛ばそう
- ・ 11月15日(土) 鳥形メモフォルダを作ろう!
- ・ 12月20日(土) 輪ゴムで動く牛乳パック自動車を作ろう!
- ・ 1月17日(土) カタカタひつじ
- ・ 2月21日(土) ペットボトル弓矢
- ・ 3月21日(土) パタパタボックス6面相

## 8. 企業との連携事業

### (1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。またりそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。6

(2) ④参照。

### (2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

12月3日(水)～5日(金) 国際交流サービス 北部九州(豊前・豊後)考古の旅 【31名】

## 9. 広報普及研究事業

### (1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol.41 9月30日発行 4000部

博物館だより Vol.42 3月31日発行 4000部



## (2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。下記(6)参照。

## (3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

## (4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供 25 回・新聞雑誌広報等掲載回数 167 回】

## (5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

## (6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。また、館報は研究論文等を掲載しているところから、有償配布も実施した。

- ・『ヤマト王権と葛城氏』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 63

4月26日発行 1234円(987円※割引販売)

【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数1,417(21)冊(平成26年度)】

※販売数は定価販売・割引販売の合算、( )内は割引販売数。以下同。

- ・『出土品が語る海と「おおさか」』7月19日発行 205円

【広報1,400冊・販売600冊・販売数641(0)冊(平成26年度)】

- ・『箸墓以降ー邪馬台国連合から初期ヤマト政権へー』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 64

10月4日発行 1234円(987円)

【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数1,078(25)冊(平成26年度)】

- ・『歴史発掘おおさか2014』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 65

1月24日発行 617円(493円)

【広報 1,000 冊・販売 700 冊・販売数 281 (16) 冊 (平成 26 年度)】

・『大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 18』 3 月 31 日発行 514 円

【広報 800 冊・販売 200 冊・販売数 0 冊 (平成 26 年度)】

## 10. 研究事業

### (1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業（河内長野市におけるシンポジウム）の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動も努めた。

### (2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者 【128 名】

韓国研究者 【21 名】

### (3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

### (4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員 2 名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

## 11. 資料調査収集製作事業

### (1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

### (2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

## 12. サービス事業

### (1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（4 月 28 日）と 8 月の盆休暇中の月曜日（8 月 11 日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

## **(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施**

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

## **(3) 博物館グッズの販売、開発**

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売に努め、新規取扱商品を増やした。

## **(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修**

来館者に対する対応マナーの研修（外部講師を招聘）を実施した。12月1日（月）。

## **(5) 設備の更新**

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

特別収蔵庫系統パッケージエアコンガス漏れの調査作業、ならびに修繕を行った。

消防点検不良箇所（感知器など）の改修工事を行った。

耐用期限が経過した消火器を入れ替え、使用説明版の設置を行った。

ACU-1 吸気ファン（ロビー系統）モーター取替工事を実施した。

風土記の丘汚水処理施設内余剰水の引き抜き処理を実施した。

地形模型の竹内街道など表示装置の改修（LEDによる点灯）を行った。

6面マルチ映像機器の修理（DVDコントローラー電源基盤取替）を行った。

13. 入館者数及び入館料一覧

(平成26年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	2,422	1,838	4,260	16,912	21,172	583,400	85
割合 (%)	13.5	11.8	12.7	22.7	19.6	9.0	
25年度冬季特別展 (1・25～4・6) 歴史発掘おおさか2013	428	373	801	3,270	4,071	186,800	6
割合 (%)	19.7	18.1	18.9	24.2	22.9	21.4	
春季特別展 (4・26～6・29) ヤマト王権と葛城氏	5,785	5,287	11,072	17,330	28,402	2,236,520	57
割合 (%)	32.1	34.1	33.0	23.2	26.3	34.6	
夏季企画展 (7・19～9・15) 大阪平野はむかし海だった	3,104	2,218	5,322	9,948	15,270	958,200	52
割合 (%)	17.2	14.3	15.9	13.3	14.1	14.8	
秋季特別展 (10・4～12・7) 箸墓以降	4,092	3,739	7,831	13,567	21,398	1,620,220	56
割合 (%)	22.7	24.1	23.4	18.2	19.8	25.1	
冬季特別展 (1・24～3・22) 歴史発掘おおさか2014	2,175	2,058	4,233	13,514	17,747	874,420	50
割合 (%)	12.1	13.3	12.6	18.1	16.4	13.5	
合計	18,006	15,513	33,519	74,541	108,060	6,459,560	306
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成25年度実績	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305
平成24年度実績	16,637	18,099	34,736	81,687	116,423	5,973,240	305
平成23年度実績	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304
平成22年度実績	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306

## VI. 日本民家集落博物館事業

### 1. 展示事業

#### (1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア  
国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家  
国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家  
大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉  
未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵  
その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。  
また、「セミナーハウス」を設置している。
- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア  
大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家  
大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台  
未指定 = 北河内の茶室、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開。
- ③ 「むかしのくらし展示」  
稲作に係る民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和 30 年代の一部屋を再現している。石臼体験コーナーを併設。

#### (2) 市民展示

- ① 「春のてまり展」  
ア. 内 容 日本手まりの会「都てまり」製作による色鮮やかな手まり作品展。  
イ. 開催期間 平成 26 年 4 月 6 日（日）～4 月 20 日（日）
- ② 「紙すき工房どんぶり作品展」  
ア. 内 容 「紙すき工房どんぶり」による、紙すき作品展。  
イ. 開催期間 平成 26 年 8 月 23 日（土）～9 月 5 日（金）
- ③ 「能面の世界展」  
ア. 内 容 能面制作工房「遊創工房」の会員による能面作品展。  
イ. 開催期間 平成 26 年 11 月 1 日（土）～16 日（日）
- ④ 「第 20 回 游心会展」  
ア. 内 容 書道グループ「游心会」の会員による書道作品展。  
イ. 開催期間 平成 26 年 11 月 1 日（土）～16 日（日）
- ⑤ 「民家集落ペン画展」Ⅲ  
ア. 内 容 豊中市在住の作家による、民家集落の民家を描いたペン画作品展。  
イ. 開催期間 平成 27 年 3 月 14 日（土）～29 日（日）

#### (3) 企画展「越中五箇山茅葺きの技写真展」

- ア. 開催概要 越中五箇山の茅葺き民家と屋根の葺き替えの様子を記録した写真展を

行った。

イ. 開催期間 平成 26 年 10 月 11 日(土)～11 月 24 日(月・祝)

ウ. 場 所 セミナーハウス

## 2. 各種催し開催事業

来館者に親しんでもらえる博物館活動の一環として次の事業を行った。

### (1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して形、下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4 月 16 日(水)～ 5 月 18 日(日)	大和十津川の民家前庭 奄美大島の高倉前	
ようか日	5 月 1 日(木)～ 5 月 6 日(火)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6 月 29 日(日) かざり：7 月 1 日(火) ～7 月 6 日(日)	大和十津川の民家 縁側	体験参加者 16 名
お盆飾り	8 月 12 日(火)～ 8 月 16 日(土)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1 月 6 日(日)～ 1 月 18 日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1 月 11 日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 95 食
桃の節句・雛飾り	2 月 14 日(土)～ 3 月 22 日(日)	越前敦賀の民家	

### (2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4 月 13 日(日)	館内竹林	博物館スタッフ 93 名
むかしの遊び(万華鏡、 折り紙、コマ作り)	5 月 3 日(土)・4 日(日)・5 日 (日・祝)	日向椎葉の民家	竹山慶次 他 約 145 名
麦の脱穀と麦茶 作り	6 月 7 日(土)	長屋門前広場横 畑	大坪章他 7 名

葉っぱのスタン プであそぼうよ	6月22日(日)	大和十津川の民 家	Cise 15名
親子でお手玉作 り	7月26日(土)	セミナーハウス	博物館スタ ッフ 3名
土とあそぼう	7月26日(土)	大和十津川の民 家	Cise 40名
子ども民家探検	7月27日(土)	飛騨白川の民家 他	博物館スタッフ 5名
養蚕体験糸つむ ぎ	8月24日(日)	日向椎葉の民家	博物館スッフ 45名
紙すき体験	8月23日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり 40名
木とあそぼう	8月30日(土)、31日(日)	大和十津川の民 家	Cise 40名
親子芋ほり体験	10月19日(土)	飛騨白川の民家 前畑	久保田栄他 19名
はたおり体験	10月24日(金)、25日(土)、 26日(日)	南部の曲家	セントポプ リ 19名
つくって、あそん で!木の粘土	12月14日(日)	大和十津川の民 家	Cise 30名
みんなの餅つき	2月1日(日)	日向椎葉の民家 前庭	久保田栄他 55名
色色色あそび	3月22日(日)	大和十津川の民 家	Cise 30名
コマ遊び	4月5日~7月5日・9月6 日~12月6日・2月21日~3 月28日の各土曜日29回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 他 873名
石臼体験	4月6日~6月15日・9月7 ~3月15日の各日曜日 27回実施	石臼コーナー	大坪 章 他 376名

### (3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。

文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

① 木管五重奏コンサート

- ア. 内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。
- イ. 実施日 4月20日(日)
- ウ. 場 所 日向椎葉の民家

② フォークコンサート

- ア. 内 容 フォークソング愛好会「バガボンス」による演奏会。
- イ. 実施日 4月27日(日)・11月9日(日)
- ウ. 場 所 日向椎葉の民家

③ みんか朗読会

- ア. 内 容 「グループ雲」による昔話や時代物の朗読会。
- イ. 実施日 4月29日(火・祝)・10月12日(日)
- ウ. 場 所 大和十津川の民家

④ 絵物語とマジック

- ア. 内 容 「SA 豊中・観覧車」による紙芝居とマジック。
- イ. 実施日 5月24日(日)
- ウ. 場 所 日向椎葉の民家

⑤ むかし話を聞きましょう

- ア. 内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。
- イ. 実施日 6月1日(日)・11月1日(土)・3月21日(土・祝)
- ウ. 場 所 日向椎葉の民家

⑥ 朗読会 心に届くお話

- ア. 内 容 「でくの工房」による童話と詩の朗読。津軽三味線の演奏会。
- イ. 実施日 6月7日(土)・8日(日)
- ウ. 場 所 南部の曲家

⑦ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～

- ア. 内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。
- イ. 実施日 9月20日(土)
- ウ. 場 所 日向椎葉の民家

⑧ 落語で笑ろうて民家

- ア. 内 容 「大阪百楽の会」による落語会。
- イ. 実施日 10月19日(土)
- ウ. 場 所 大和十津川の民家

⑨ こみんか・ゆるりカフェ

- ア. 内 容 能勢の民家を会場にしての一日 cafe。



- イ. 実施日 11月2日(日)
- ウ. 場所 摂津能勢の民家
- イ. 実施日 11月16日(日)

⑩ 詩の朗読会

- ア. 内容 弓削緋紗子氏による詩の朗読会。
- イ. 実施日 11月23日(日)
- ウ. 場所 日向椎葉の民家

⑪ お茶会

- ア. 内容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。
- イ. 実施日 4月5日(土)、19日、5月3日、17日、6月7日、21日、7月5日、19日、9月6日、20日、10月4日、18日、11月1日、15日、12月6日、20日、1月24日、2月28日、3月28日

計 19回

- ウ. 場所 北河内の茶室

⑫ その他有料貸部屋利用

- ア. 内容 民家の貸部屋を行い、俳句会、撮影会等の目的での利用を促した。  
年間利用件数 105 件。(利用料収入 938,000 円)
- イ. 場所 大和十津川の民家他

**(3) 特別企画事業**

① 「民家集落わくわくワークまつり」

- ア. 内容 「服部緑地 10 月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRするため、ワークショップ、茅屋根葺き体験、民家のふるさと物産展、模擬店、アカペラコンサート等を実施した。  
(当日入館者数 1,175 名 内、大人 500 名)

- イ. 実施日 10月25日(土)

② 春の敬老フェア&民家で甘酒

- ア. 内容 毎月 15 日に実施しているアクティブシニアの日 (65 歳以上入館料半額) を 3 日間に拡大するとともに、ボランティアの協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒のサービスを行った。  
(期間中シニア入館者 97 名、甘酒配布数 140)

- イ. 実施日 平成 27 年 3 月 13 日(金)～3 月 15 日(日)  
(甘酒の提供は 14、15 日のみ実施)

**3. 普及啓発事業**

**(1) 民家解説等の開催**

### ①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

### ②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ.場 所 北河内の茶室

### (2) 囲炉裏体験

ア.内 容 28名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

ウ.場 所 日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

### (3) 連続講座

「民家集落セミナー」と題して、民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回「石塀と屋敷林の分布からみた日本の住まい」

講 師：森 隆男（関西大学教授）

開催日：平成26年5月10日（土）

第二回「資料の現地保存の歴史とこれから」

講 師：瀧端真理子（追手門学院大学教授）

開催日：平成26年5月25日（日）

第三回「変わりゆく環境と人間生活」

講 師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：平成26年6月29日（日）

第四回「京都丹後地方の集落と民家」

講 師：大場 修（京都府立大学教授）

開催日：平成26年7月5日（土）

### (4) 企画展関連講座

企画展「越中五箇山茅葺きの技写真展」に関連する講座を開催した。

「ドイツ・オランダ・イギリス茅葺き見聞録」

講師：相良育弥（淡河かやぶき屋根保存会くさかんむり）

イ. 開催日 平成26年11月3日（月・祝）

### (5) 民俗芸能公演「奄美の島唄と踊り」

ア.内 容 鹿児島県奄美大島に伝わる郷土芸能の公演を行った。

出 演／奄美沖縄島唄ユイゆいー

イ.開催日 平成26年11月16日(日)

ウ.場 所 奄美大島の高倉、小豆島の農村歌舞伎舞台

エ.観 覧 者 130 名

#### (6) グリーンロハスフェスタ

ア.内 容 服部緑地5月祭事業に参加し、「グリーンロハスフェスタ」のワークショップブースに出展し、コマ作り・コマ遊びワークショップを実施した。

イ.開催日 平成26年5月18日(日)

ウ.場 所 服部緑地西中央広場

#### (7) 北大阪ミュージアムメッセ

ア.内 容 北大阪ミュージアムネットワークの会員として、みんぱくで開催された北大阪ミュージアムメッセに参加し、パネル展示等を通して博物館の紹介に努めた。

イ.開催日 平成26年11月15日(土)～16日(日)

ウ.場 所 国立民族学博物館

#### (8) ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」

ア.内 容 NPO法人シニア自然大学が主催するジュニア自然大学を当館を会場に開講し、子どもたちに自然環境学習の場を提供した。

イ.開催日 平成26年4月19日(土)～12月13日(土) 全26回

ウ.場 所 当館全域

#### (9) ONCC 公開文化講座「日本文化の再発見」

ア.内 容 NPO 法人大阪シニアカレッジ (ONCC) が主催する文化講座を博物館を会場に開講し、生涯学習の場を提供した。2月5日(日)は、当館学芸員による民家にまつわる講座も開催した。

イ.開催日 平成26年6月5日(木)～平成27年2月5日(日) 全9回

ウ.場 所 セミナーハウス他

### 4. 学校教育連携事業

#### (1) 大学博物館実習

ア.内 容 奈良大学通信教育部と関西学院大学の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ.期 間 平成26年8月9日(土)、10月25日(土)、11月16日(日)

ウ.受入人数 47名

#### (2) 中学生の職場体験学習

ア.内 容 豊中市立第 17 中学校 2 年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期 間 平成 26 年 10 月 28 日(火)～30 日(木)

ウ.受入人数 2 名

### (3) こども囲碁クラブ

ア.内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア 14 名が指導にあたった。

イ.期 間 平成 26 年 4 月 13 日(土)～平成 27 年 3 月 28 日(土)

8 月中及び、毎月第一週を除く土曜日 34 回実施

ウ.生徒数 49 名

### (4) むかしのくらし体験学習

ア.内 容 小学 3 年生社会科「昔のくらし」・4 年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成 26 年 10 月 3 日(金)他 計 17 日

ウ.受 入 大阪市立北恩加島小学校 3 年生 52 名他 計 16 校 1,085 名

### (5) 豊中マチカネ先生塾

ア.内 容 豊中市教育委員会主催の教員を目指す大学生を対象とした研修講座の「校外学習・体験学習」演習を博物館を会場に実施。学芸員が指導した。

イ.期 間 平成 26 年 11 月 8 日(土)

ウ.参加数 18 名

## 5. ボランティア受入活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、58 名が活動した。(内 3 名が新規登録者)

## 6. 施設整備事業

### (1) 国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事

ア.内 容 各所の経年劣化が進行している合掌造り民家について、前年度に引き続き、耐震補強工事、建具補修工事、仏間の壁紙張替え工事・電気設備工事・防虫防蟻処理工事を実施した。

イ.工事期間 平成 26 年 4 月 1 日(月)～平成 27 年 3 月 31 日 (火)

### (2) 民家周辺排水溝等の整備

ア.内 容 越前敦賀の民家周辺の排水溝、椎葉の民家前広場の排水溝を整備した。また、前年度、台風で破損していた外周柵の補修工事を行った。

イ.工事期間 平成 26 年 4 月 23 日(水)～5 月 1 日(木)、11 月 3 日(月・祝)～12 月 2

日(火)、平成 26 年 12 月 11 日(木)～1 月 28 日(水)

### (3) 危険木の伐採

ア.内 容 倒木による建物への被害及び入館者への危険性があった北河内の茶室横の、アベマキ、十津川の民家横のクスノキを伐採した。また、池田土木事務所の協力を得て、大和十津川の民家横の松の枯れ木を伐採した。

イ.工事期間 平成 26 年 2 月 1 日(日)～12 日(木)、2 月 15 日(日)～3 月 5 日(木)、  
平成 26 年 3 月 2 日(月)

## 7. 広報事業

### (1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内(9 月～3 月)	8 月	15,000 部
春・夏の催し案内(4 月～9 月)	3 月	15,000 部

### (2) 外国人向け DVD 及びパンフレットの作成

外国人向けのプロモーションビデオ (DVD) と英語、中国語、韓国語表記のパンフレットを製作し府下の各施設に配布した。

### (3) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

### (4) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介の DVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。  
また、学校等に DVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

### (5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FM ラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

### (6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗 (上・下巻)」を頒布した。(実績・・・民家の案内 156 冊、民俗 7 冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

## 8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

## 9. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成26年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	4,661	1,744,600	26
5月	4,841	1,294,300	27
6月	2,253	564,400	25
7月	1,525	396,050	27
8月	1,515	371,450	26
9月	2,612	818,300	25
10月	5,269	1,142,650	26
11月	3,781	1,074,800	26
12月	1,314	296,800	22
1月	1,762	444,200	23
2月	3,018	666,650	24
3月	2,956	885,450	26
合計	35,507	9,699,650	303

※入館料は消費税込みで表示

### <年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成25年度	34,962人	8,721,650円	304日
平成24年度	39,123人	9,682,350円	305日
平成23年度	34,505人	9,511,750円	305日